

鍼灸拔萃序

凡欲治病者莫如用鍼巧運神機
之妙用開聖理之深蘊邪輔正實
哉刺有手法有補瀉有迎隨時有
溫涼寒熱人有虛實瘦肥正有欲
用鍼者先明此旨也次定脉候也
手法刺禁穴處可審焉為初學

之人從素難諸家之鍼灸秘密妙
臆書中拔出其肝要集號鍼灸拔
萃極此意施治則庶乎行遠升高
之一助云爾

鍼灸拔萃目錄上

- 第一 四知之論之事
- 第二 脉之見樣之事
- 第三 腹之見樣之事
- 第四 五藏之色脉之事
- 第五 天地人男女之法之事
- 第六 太極之事
- 第七 針灸之慎之事
- 第八 艾葉之制法之事
- 第九 尺寸定法之事
- 第十 針入不拔拔樣之事
- 第十一 折入針拔樣之事

- 第十二 然針然樣之事
- 第十三 打針之手法之事
- 第十四 管針之手法之事
- 第十五 砭針之事
- 第十六 補瀉迎隨之事
- 第十七 阿是之穴之事
- 第十八 手指之圖之事
- 第十九 針之圖之事
- 第二十 藏腑之圖說之事
- 第二十一 骨度之圖之事
- 第二十二 經絡圖說病論之事

鍼灸拔萃上目錄終

鍼灸拔萃上

一 四知之論

神聖工巧望聞問切是百病大成二八四象上云大類
 大全二八四妙上云難經俗解曰四知 難經曰問
 知之謂之工切脉而知之謂之巧望而知之謂之神聞而
 知之謂之聖又曰以外知之曰聖以內知之曰神
 夫肝心脾肺腎五藏內二病時八即青黃赤白黑五色
 面二顯ル面色青ハ腹中ノ痛ニナリ赤ハ腹中ノ熱也黃
 ナルハ脾ノ藏ヨロキ也白キハ腹中ノ寒也黒ハ腎氣ノ
 ヤフル、也不飲酒如醉ナルハ神氣ノ不足手足ノ指ノビ
 節アイスキタルモノハ病ノ得テ遅ク愈ル也凡如此見ル
 所ヲ以テ内腹ノ病ヲ知ヲ望ト云ヒ神ト云

夫五藏内ニ有テ五聲ヲ出ス歌哭呼笑呻是也五音ハ
又五聲ヨリ出ツ宮商角徵羽是也然レ六病者ノ聲ヲ以
其腹中ノ病ヲレレ譬ハ哭スル肺ノ病ト知ルスハナリ鼻
ヒル者ハ肺ニ風有ト知リ笑テヨダレ多ハ脾ノ病ト知ル怒
ヨバツテ涙多ハ肝ノ病也嘔ヲ多吐キ呻ハ腎ノ病也
也汗出テタハ心ノ病也聲ノ輕キハ氣ノ弱也
聲ノ重ク濁ハ風氣ノ痛ミ也一向ニ声ノタヌハ肺病也
声ノ急タルハ神ノ衰ル也声ノ塞ハ痰ノレワサ也声ノ
振フハ冷ナリ声ノムセブハ氣ノ不順也アエクハ氣ノイソ
カハレキ也アクビ多ハ倦ルナリ右如此病者ノ声ヲ以
藏府ノ病ヲ知ル故ニ是ヲ聞ト云ヒ聖ト云也
夫五味ハ口ニ入胃ニ納ルト云ヘ凡是ヲ口ガレコナレテ脾

ニ渡セハ則是ヲ五藏六府ニ散スル也五藏モ又其味ニ依
テ受之也肝ハスキヲ好ム心ハ苦ヲ好ム脾ハ甘ヲ好ム
肺ハ辛ヲ好ム腎ハ鹹ヲ好ム右如此病者ノキラ
ヒコノム味ヒラ問フキニヘテ五藏ノ病ノ發所ヲ知ル
ヘレ又病者常ニ好シテ何物ヲ食レ何レノ日病ヲ受
イカヤウニヤミハレメタルト委クトヒ尋テ病ノミナモ
トヲ問ト云ヒエト云 右以上三術ヲツクレ其
後脈ヲウカヒ虚實ヲワキニヘ凡四道ヲ分別シ陰陽寒
熱ヲアキラメ生死吉凶ヲ定ムルヲ診候ノ術ト云ナリ
脈ヲウカフ者夏ハ神氣ヲレツメ呼吸ヲ定メテ取ルヘキ
也脈ヲタレカニテ藏府ノ病ヲワキニヘ生死ヲ知故ニ
是ヲ切ト云ヒ巧ト云凡針灸醫ノニツヲ行ハシハ先

酒ヲ禁ズベシ婦人ノ念ヲヲコスヘカラス貪欲ノ心ヲ生
ズヘカラスソ子ム心ニクム心ヲ生ズヘカラス今ノ鹿醫ハ
病人ヲ得テ後醫ハ先醫ヲソレリ先醫ハ後醫ヲソ子
ム針者ハ醫ヲソ子ニ醫ハ針ヲ嫌フ仁ノ道ニ有ヘカラス
古人豈不謂之君子欲達已先達人

二 脈法

男ハ左女ハ右ノ手ヨリトリコ、ロムナリ。指ヲウケテ衛
ヲサクルニ指ノハラニ浮ミ通モノアリ。是氣ノ往來也其
ヲ按シテ見ルニカアリテソフト大ナルハ氣ノ實ナリ又カ
ナクヨクキユルヤウナルハ氣ノ虛ニタルナリ指ヲ少シシ
ツムニ榮ヲサグルニカアリテソフト沉ナルハ血ノ實ニタル
ナリ。亦チカラナク澁リテ弱ハ血ノ虛ニタルナリ凡一息

ノ間二脈四動ヲウツハ平脈ナリ。少壯ノ人ハ四動半五動
モウツナリ老衰ノ人ハ四動ヨリソキモアリ。一息トハ
醫者ノイキヲレツメテ呼吸ノ間ヲ一息ト云呼トハ出ル
イキ吸トハ入ルイキノコトナリ。少壯トハ十四五ヨリ二十
已上ノ一老衰トハ六十ヨリ上ノ人ヲサシテ云ナリ

祖脈

浮ハ指ヲ押テモウケテモヤワラカニアタ ルナリ	浮ハ指ヲ押テモウケテモヤワラカニアタ ルナリ	浮ハ指ヲ押テモウケテモヤワラカニアタ ルナリ	浮ハ指ヲ押テモウケテモヤワラカニアタ ルナリ
沉ハ指ヲ押テミルコ、ロナリ	沉ハ指ヲ押テミルコ、ロナリ	沉ハ指ヲ押テミルコ、ロナリ	沉ハ指ヲ押テミルコ、ロナリ
遲ハ指ヲ押テミルコ、ロナリ	遲ハ指ヲ押テミルコ、ロナリ	遲ハ指ヲ押テミルコ、ロナリ	遲ハ指ヲ押テミルコ、ロナリ
速ハ指ヲ押テミルコ、ロナリ	速ハ指ヲ押テミルコ、ロナリ	速ハ指ヲ押テミルコ、ロナリ	速ハ指ヲ押テミルコ、ロナリ

數ニテカ^ル熱

ナキハ瘡

數ハハヤキ脈ナリ呼吸ノアイダニ脈

五六七動モウツラ云フナリ

此四ノ脈ヲ以テ一切ノ脈ノヲヤカタトスルナリ故ニ祖脈ト云祖ハヲヤカタトヨムユヘナリ

六脉

病人ノ脈ヲトル事。醫者ノ右ノ手ノ食指ノ下ハ心脈中指ノ下ハ肝脈無名指ノ下ハ腎脈ナリ。又左ノ食指ノ下ハ肺脈。中指ノ下ハ脾脈無名指ノ下ハ命門ノ脈ナリ。心肝腎肺脾命門六脉コレナリ。カクノゴトク心ヘテイツレノ脈タカブリ。イツレノ脈ブルト云フ其虛實病ノミナモトヲカシガヘテヨクシルモノナリ。人煩テ脈病ガハ生。脈ヤム時ハ入病サレトモリス

四季ノ平脈アリ。春ハ微弦。夏ハ微洪。秋ハ微浮。冬ハ微沉。有脉ニ七表八裏九道トテ凡四脉其外脉ノ數ヲシトイヘトモ其大略ヲアラハス

三

腹之見様^{死ヲ知事}

患人ヲ仰キニ臥サシテ兩足ヲノベサセ兩ノ手ヲ股ノワキニ付サセテサテ男ハ左女ハ右ノ乳ノ下ヲ手ノ平ニテ押ヘ病人ノ心ヲレツメサセ。五六呼ノ程ヲシテ其手ヲ下レ上腕ノ所ヨリ押ヘテ靜ニ左右ヲウカヒ見ル男ハ左ヲ先女ハ右ヲ先ニ見押ヘテ病人ノ心ヨハキハ虛ナリ。押テ痛ハ實也。輕ク押テ痛ハ邪表ニアリ。重ク押テ痛ハ邪裏ニアリ。臍ヨリ上胸ノ下スキテ臍ヨリ下フクレテ押コタヘ有ハ腎精ノ實ニテ無病ノ入トス。胸ノ下フクレ臍ノ下スキ

六ノ腎ノ虚ナリ臍ノ上下ナレヨフテ何ノサワリモナク
押コタヘ有ハ平生ノ常也或ハ堅ク或ハミダリニヤハラカ
ニレテ木ノ枝ナド代々ニ入テサグリ見ルヤウ成ハタトヒ
無病ナリト云凡皆病アリ。左右ノタツ筋ハリテ有ハ
性氣ノ虚也生死ヲウカフハ臍下三寸關元ノ穴ニテ
ウカフゾ。此穴ハ天ノ一元ノ氣ヲ我ニウケ始ル所則一身
ノ大極ト沙汰スル所。經ニ曰ク臍下腎間ノ氣ハ乃人ノ
生命十二經ノ根本ナリ。三焦ハ則元氣ノ別使ト有ル。此
三焦ノ根本ヨリ始リ終ルモ三焦ヨリ終ル。然ルニ依テ死
スル者ハ必ズ三焦ノ部ノ一元ノ氣無キナリ。其一元ノ氣ヲ
ヨク窺ヒ有無ヲ知ル則生死ヲ知ル。其ウカヒヤウハ手
サキニテ押テ見ルニ力ナク空虚ニテ指ヲ動シミルニ中々

ボニレテ立ニミソ有。指ノ落ハヤウニ覺ゾ。胸ノ下堅石ヲナツ
ルガ如キ者ハ必死也。是上腹心傳受ト云アレ。凡醫ノ秘密ナ
ハ此ヲ略ス。サテ元氣見脈ヲ見テ生死ヲ知。先見脈ヨキ人
ハ床ニツキ食不通ト云凡本復スベレ見脈アレク腹凡ニ下レキ
ハ極テ死症也。見脈目付アリ。ニハ面赤ク眼白。ニハ面青眼黃
三ハ眼光ナク。四ハ鼻下人中ノ跡ナク。五ハ唇青身ヒエテ。ヒ
リハリレ。六ハ食物ヲミテウレロムキ。七ハ衣ヲナテ床ヲ
サグリ。八ハ髪スクミ麻ノゴトクナリ。九ハウナレ筋ノ
ヒ十ハ手ノ内ノレワナク。十一ハ手足ノ爪青黒ク
十二ハ唇コカレハレテ青白ク。十三ハ足ノ甲又ハ裏腫
十四ハ身重ク大便タモタズ。十五ハ眼ノヒトミヲ不轉
十六ハ身ワルクサク。十七ハムカブラ落入。十八ハ目鼻耳
口黒。十九ハ面青白ノタワコトツキ。凡ハ兩頰赤タ一切ニ

冬 北 壬 癸 黑 腐 鹹 唾 怒 慄 精 志 寒 呻 液

腎 水 膀 耳 骨 肢 榮 金子

テ息イキスクミ 廿二ニハ足膝腫アキレカフクレ。小

五音	角	徵	宮	商	羽
五調子	雙調	黃鐘	一越	平調	盤涉
生數	三	二	五	四	一
成數	八	七	十	九	六
五經	厥陰	少陰	大陰	大陰	少陰
五位	震	離	坤	兌	坎
右五臟	肝	心	脾	肺	腎
左五臟	膽	小腸	胃	大腸	膀胱
面	青	赤	黃	白	黑
心	火	木	土	金	水
肺	金	木	土	金	水
腎	水	木	土	金	水
上ノ五ノ字ノ通リヨリ見下スヘレ。カクノゴトク會得セハ。					
五藏ノ色体々ヤスク分明ニ知ルモノナリ。					

五 天地人男女之鍼法

人ニ天地人ノ三オアリ。針ニ天地人ノ三オ有リ。人ニ天
 地人ノ三オハ胸ヨリ上ヲ天トシ胸ヨリ臍マテヲ人トシ
 臍ヨリ下ヲ地トス。天ニ輕淺地ニ重深人ニ中様ヲ用
 天ニ鍼深キトギ人ヲ殺ス。鍼ノ大事口傳此所ニ有
 是心ノ俞魂ヒノ宿スル處ニ近キ故也。天ニ針サスハ針ヲ
 フレテ淺ク輕ク撚ルヘレ。若シ針刺レテ過アス其面ヲ神
 ニテヲヒ。口鼻ノ息ヲ溫メ面ニ風ヲアテス。テ男ハ足ノ三
 里崑崙女ハ三陰交サテ男女正ニ臍ノ下一寸五分氣海
 穴ニ刺レテ補瀉ヲナスヘレ。必ス蕪ス。又鍼ニ天地人ノ三
 オハ刺レテ皮肉ニ至ラズ。天ト云。肉内ニ至ラズ。人ト云。筋骨ノ間
 至ラ地オト云也。七十難曰。春夏ハ宜淺秋冬ハ宜深。

男ハ淺ク女ハ深ク午前ハ淺ク午後ハ深ク女ハ是ニ續
ス是陰陽ノ法ナリ針灸ヲ行フニ先行年宜忌及人
神在ル處ヲ定ムヘシ然ル害有ルヲ勿物ハ五行ノ理ニ
分カス人ハ天地ノ正理ヲ攷也經曰ク人ハ天地ノ氣ヲ受テ
三ノ天ノ陽氣ハ氣トナリ地ノ陰氣ハ血トナル天地ハ万物
ノ父母タリ頭面喉胸心腹臍下肩背肘腿手脚皆手
法アリニタリニ施スベカラス

六 太極

針ニ太極ト云フアリ此理ハ言ニノベテモ心ニヲチス心得ト
クシテモ言ニノベカキフノガ物ノ上ニヲイテ太極ノ理ヲ
ラスト云フナシ先天天地ノ太極ト云イミダ天地未分ノ上
ロヲ指テ太極トス其太極判テ陰陽兩儀ヲ生ス兩儀

四象ヲ生シ四象ハ卦ヲ生スコレヨリ寒暑燥濕風木火
土金水青黃赤白黒千變萬化トナル分テ云時ハ虚無ヨリ
混沌ヲイタス清ハ上テ天ト成リ濁ハ下テ地トナル是陰陽
ノ初ナリ易ニテサタスルトキハ乾坤未分ノトコロゾ周茂
叔ハ太極本無極トミタリ太極則無極ナリ心法ノ上ニサ
タス時ハ色則コレ空空則コレ色ナリスヘテ大空切ノトコロゾ
針ノ上ニヲイテサタスルトキハ針ハ本金空ノ跡細少無心ノ
者ナリナニヨツテカキ變萬化ノ病ヲ治スコレ針者ノ
術ヲウルトコロ神瀉迎隨溫冷寒熱病ニ隨明手ヲ施ス
フ太極ノ口傳アリシカレトモ極テ秘密ナリハ分明ニアラ
ハレガタシ針ノ道ニヨクカナフトキハナシゾイタラサルベケ
ヤ一氣其中ニ周旋ノモツテ其神ヲナスレイセシニソナリ

レル理ナリ外ニモトムヘカラス

七 針灸慎之事

針ヲ用ニト欲セ六前ヨリ房事ヲ忌ヘ又針セラリテ
ノ次日以上三日房事ヲ慎マサレ針ノ驗微ナリ灸治
ヲ用ニト欲セ六前ヨリ房事ヲ忌ヘ又灸治ノ後七
日房事スヘカラス針灸ヲ用ル時怒ルヘカラス若怒ル事
アルハ暫ク氣ヲシタ氣定テ後ハシテ灸スベシ又甚飢飽
酒醉ノ時勞役ノ時針灸スヘカラスサテ灸ノ後三日風
呂ニ不入又湯ニ不入洗足ハ翌日ヨリ用ユベシ
右針灸ヲ行時風ニアタルヘカラス窓隙ヲヨク閉テ行ヘシ

四季之人神

春ハ左脇 夏ハ臍 秋ハ右脇 冬ハ腰

毎日之人神

一日足大指	二日外踝	三日股内	四日腰	五日口
六日手	七日内踝	八日足腕	九日尻	十日腰背
十一日鼻柱	十二髮際	十三牙齒	十四胃脘	十五日遍身
十六胸	十七氣衝	十八股	十九足	廿日内踝
廿一外小指	廿二外踝	廿三肝俞足	廿四	廿五足陽明
廿六日胸	廿七日膝	廿八日陰	廿九日膝脛	卅日足ノ趺

十二時人神

子起丑頭寅耳卯醜辰耳巳午臍未臍申心酉背戌腰亥股

血忌日

正丑二未 三寅四申 五卯六酉 七辰 八戌 九巳 十亥 十一午 十二子
血支日

正丑二寅三卯四辰五巳六午七未八申九酉十戌十一亥十二子

長病日

六日 十五日 十八日 廿三日 廿四日 廿八日 廿九日

右此日鍼灸并初テ藥服ス生忌ヘシ

〔八〕艾葉之制法

本草ニ云ク艾味苦氣微溫陰中陽無毒主灸百病三月三日五月五日ニ採艾殊ニ神矣アリ月ニサレシ曰ニ擣テ後手ニテ揉綿ノ如クニシテ可用年ヲ經タル弥佳也紙ニ卷長サ二分バカリニ切ヘシ擣サハ切口三分ハカリ人ノ氣力ニ應ヒテ大小ヲ量ルヘシ小ナハ俞穴ニツル事アリ千金ニ黃帝曰ク灸不三分是謂徒宛炷務大也小弱ニ乃小作之明堂下經曰凡灸欲炷振下廣

三分若不三分即灸氣不能達病未能愈小兒ニ小麥ホトスヘシ氣力ヨハキ人ニ和力ニヒ子リテ用ニヘシ

灸火法

鉄石ヲ以テ打テ火ヲ出シアラタヌ麻油ニ燈心ヲ入テトモシ火トシ此火ヲ灸スヘシ諸木ノ火魚ノ油ヲ用ユヘカラス箬ハ桃ノ枝ノ東ヘ引タル三月三日ニトリテ用ユヘシ竹モクルシカラス灸シラワリニロニテ盪ヲカミテ其灸穴ニ付テ又二三壯モ灸シテ置クヘシ

尺寸ヲ定ル法

男ハ左女ハ右ノ手ノ中指ノ第二ノ節ノ上ノ折目ト下ノ折目トノ間ヲ其人々ノ一寸ト定ル也折目ニ内外アリ食指ノ方ヘ向タル折目ヲ取ヘシ無名指ノ方ヘ向タルヲ取

ガラス中指ヲ屈シテ取ル屈スル口傳アリ如環スヘシ
髮際ヲ定法

凡人ハ髮際ノ分明成ル子細ナシ若髮拔テ髮際ノ分
明ナラザルハ兩ノ眉ノ正中ヨリ三寸上ヲ前ノ髮際ト定
背大推ヨリ三寸上ヲ後ノ髮際ト定ル也

大推ヲ定法

大推ヨリ上ニ小推一ツアリ或ハ二ツ有ルモアリ或ハ又一ツ
ナキモアリ六ノ字心ヲ付テ取ルニシテ又秘傳アリ肩ト
齊キヲ大推ト定ムヘシ

十 針入テ不拔事

針肉内ニ入テヒケ出不出下セドモクダラザル一問々アル
モノゾ或ハ針入テ三四五分ニシテ難出ハ皮肉針先

ニブリ纏ツキタル也此拔ヤウハ呼吸ヲウカヒ指ニカサ
入テ一競ニラツト抜ヘシ又二寸モ燃下シテ出カタクハ
臟腑ノ邪氣令運動針サキニ寄集テ針ニトヒ付タル也
且進退動搖セシメ邪氣ヲチラサシメテ而指ニカヲ入テ
心シツカニ抜ヘシ是手法ノ口傳也難出トテ不可驚如此
心得ル時ハ無不出

十一 折鍼

本草云醫工人ニ鍼シテ而針折シテ肉内ニ有テ出ス
ニ壯鼠ノ肝及腦ヲツキクタクテ針口ノ上ニ塗ヘシ又
針ニカギラス何ニテモ肉ニ入テ不出ニハ象牙ヲ粉ニシ
水ニテトキテ上ニ付ヘシ忽チ出ルナリ

十二 燃鍼手法

欲行鍼者先四知ヲ定ムヘキ也。サテ我カ志シテ正シテ病
人ニ心ヲ付念ラ鍼ニ移レ目ヲ外ニ見ルナク。人トモノイ
ハス。腹ニ行トキハ先ツ左ノ足ヲ敷右ノ足ヲ立テ鍼先ヲ
口ニ含ミ左ノ手ニテ病人ノ腹ヲ窺ヒ見テ得穴也。其針
セント思フ穴ヲマツ左ノ大指ソトハラ爪ノ角ニテ五六
呼程其穴ヲラス。金針部曰爪ヲ以テ其穴按重ノコレヲ
切トアリサテ中指大指ヲ合セテ穴ノ上ニ置右ノ肘ヲ
膝ニセテ鍼ヲ以テ穴ニアテ左ノ中指ニテ鍼口ヲ推ヘ
食指大指ヲ上テ鍼ノ中ヲ持右ノ食指大指ヲ以テ輕ク
然リ下ス急ニ然リ急ニ下ス其痛テ忍ヒカタレ呼ニ隨ヒテ左
右ノ食指大指ニテ和カニ押シ下セゴニ神瀉迎隨溫涼寒
熱ノ刺ハウアリ經曰ク刺ノ留ムル春夏ハ二十四息秋

冬ハ三十六息ニシテ針ヲ出スト有リ然レモ元氣衰タ
ル人ニ五六呼ニテ針ヲ出ノ能キナ。針ノ抜キマウハ先ツ少
出レサテ持チナラシメ引離ス中指ニテ鍼ノ口ヲ推レモム
是ヲ針口ヲ開ルト云鍼ヲ出スト急ニ手鹿ナレハ針口ヨリ
血出少是ノ衛ヲ破ルナリ。七十一難曰榮ヲサハ衛ヲ
ヤブルナカレ衛ヲ刺ハ榮ヲヤブルナカレト也。血ハ榮衛ノ主
ナリ。血出ハ何度モ閉ヨ。醫經曰ク針ヲ出スト護ニ出スヘ
カラズ三四次徐々ト轉ノ出ハ血イデスノヨキゾニダリニ出
ストキハ必ス血ヲミルトアリ凡肥人ニ針刺ストモ深ク瘦人
ニ淺ク刺ス也。大人ニ針モ大小兒ニ細キヲ用ユ初メテ
針ヲミナブ人ハ先我ガ腹ニ刺テ針ノトナリ様子ヲ能拭
ミサテ他人ニ可用也。金針ハ最上也何病ニモ効速ニ銀針

ハ鈍レ鐵針ハ惡シ殊ニ久ク用ユレ肉ノ内ニテ折ルモノ
 鐵針ヲ用ユル勿

ヒ子バリノ圖



十三 打鍼

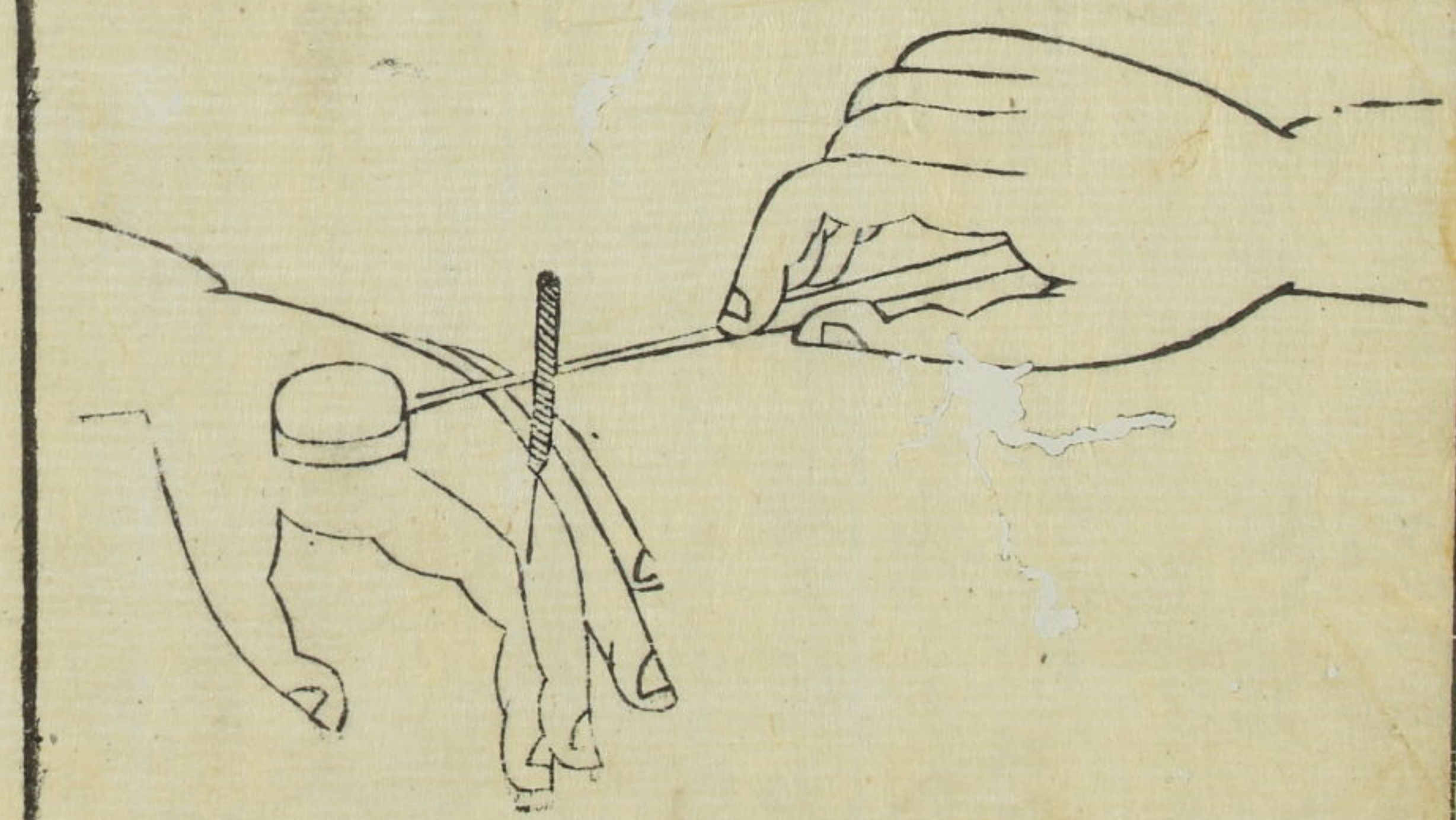
打鍼ハフカク刺フナカレ淺クシテ効アリ。一身ハ榮衛ヲ
 以テ主トスルナリ。榮衛ハ氣ト血トノ二ツ也。天樞經
 ニモ浮氣ノ經ニ隨ヒ運ルモノヲ衛氣ト云其精氣ノ經
 レタガヒテ運ヲ榮氣ト云氣ハ血道ノ外ヲ浮テ輕ク運
 ズ血ハ筋ノ底ヲ流滯スル也。氣ハ陽衛是ナリ。血ハ陰
 榮是ナリ。氣ハ外ヲメクラメ肌肉ヲ濡メ血ハ筋ノウチニ
 ナガレテ肌濡ヲウルホサレハ氣血ハ十六丈二尺ノ脈道
 ラ一呼ニ行ク一三寸一吸ニ行ク一三寸。呼吸定息脈行ク
 一六寸。一晝一夜ニ一萬三千五百息脈行ク一八百一
 十丈晝夜百刻ノアイタ五十篇タルナリ。氣ノ往來血
 ノ流通太過不及虛ト實トニヨツテ諸病ヲ求ム打針

ノ理是ヨル針フトクレテ槌ニテ撃ニヨリテ衛榮ヲ甚
動搖シ骨髓ニ徹ス手法ハ病人ニ立ヨリ左ノ足ヲレキ
右ノ足ヲタテ、槌ヲ右ノ足ノ甲ノ外ヅラニテラベクヘ
レ先槌ノ置キドコロサダメザ置キワスル、モノゾザテ針
ヲロニ含ミ左ノ手ニテ病人ノ腹ヲウカベ見テ中指ヲ
食指ノウレロニ重テ穴處ニ置キ、針ヲ中指食指ノ間
ハサミ針銃ノ肌ニツカヌホドニテ槌ヲトリ針ヲ打ナリ
打ヤウニ口傳アリ。手輕ニテ皮ヲ切ルニ痛ニヌヤウニ
ウツナリ。入ル一一分ニテ槌ニ手コタヘアリヨリ二三
分ニモ至ル深キヲキラフソ。打テ衛榮ヲウゴカレ推テ
肉ノ内ニ徹レ燃テ補瀉迎隨ヲ行フ。針出レテ後孔
閉ヨ推手ツヨク槌ヲカルクウツベレ推手ニク槌ニナリ

アハ痛ヲナミルト云ハタトハ田舎ノモノ云フ如シ或ハ
ナリ。或ハ言説不分明也槌ノ打様ハレドロニナキ様ニ
一二ヲカズユルガ如ク手ツミヨクウツベレ打鍼ノ本意ハ
腹バカリニ用テ外ノ經ニカ、ワラヌゾ其深意ハ諸病ノ
本五藏ニアリ。格致餘論曰ク病ノ本有フハ草ノ根有
ゴトシ葉ヲ去レ正根ヲササハ草ナラアリ。病ヲ治ス
一草ヲ去ル如キゾ。病ノ藏ニ有ルヲレカモ腑ヲ治シ病表
ニ有テ而モ裏ヲ攻ムトアリ。諸病ハ皆五藏ヨリ生ス然
ルニヨリ病ヲ治スルニ其本ニ求テ治スルカ本意ソ或ハ眼筋
ヲ病ムトキハ肝ノ腑ニ針ヲ刺スノ鼻皮息ヲ患ルトキハ
肺ノ府ニ針刺ス餘ハ皆ヲ例ニ效ヘ諸病ノ見ルハトコロヲ看
テ其本ニモトツイテ治ヲ作ス打針ハ腹ヨリホニ用ユルハ

本意ニアラス入ルモ二
分ヨリ深ヲ要トセス
ニ手ゴタヘマレハ骨髄ニ徹
ル。口傳有之

圖ノリバキウ



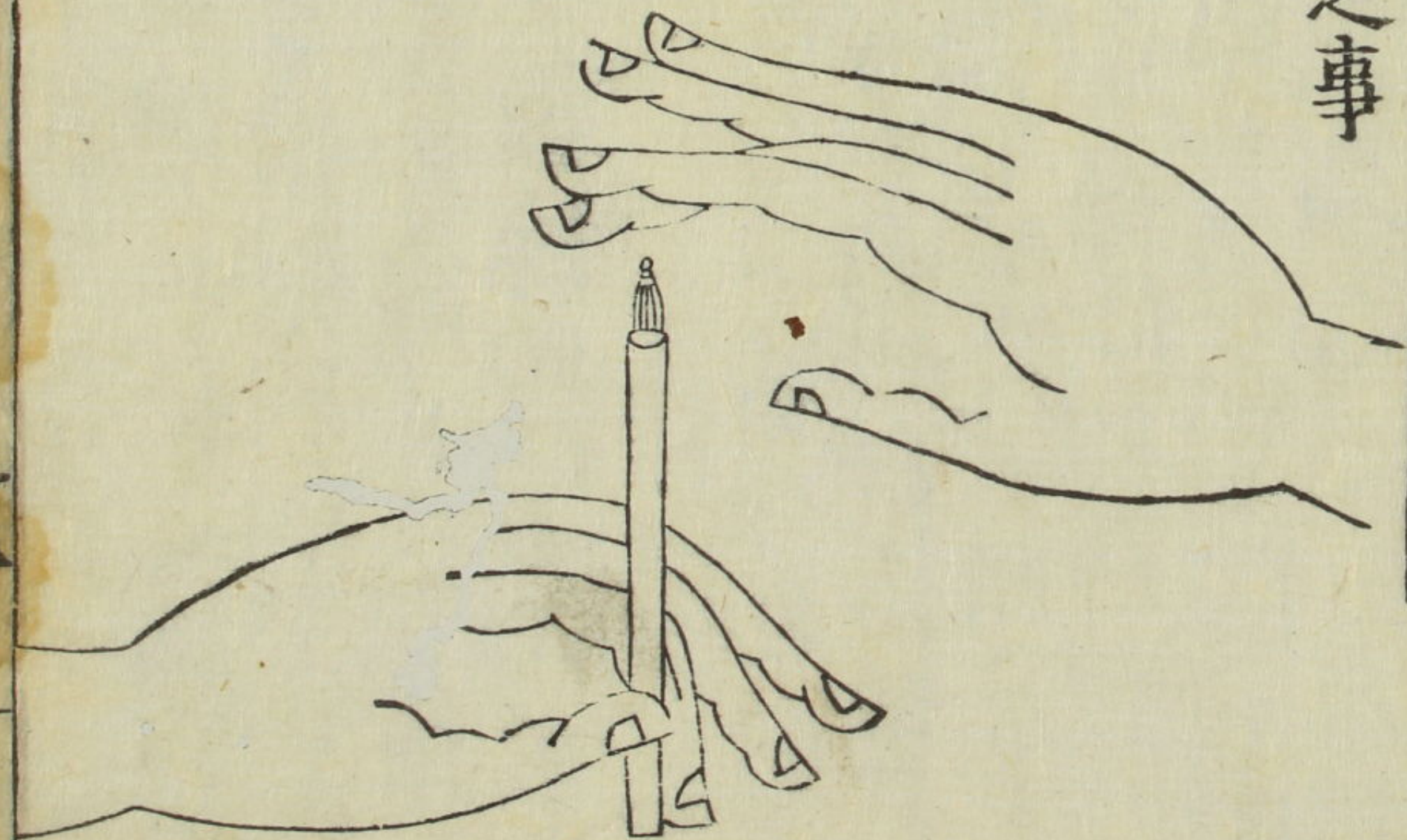
十四 管鍼之事

燃針ハ手法得難シ打針ハ沉痾ニ至テヲヨビカタシ且
ニ針ニヨリ鼻レ有テタヘニ道ニイタルハ管針ニレクハナシ。
マナヒヤスクレテ針ヲ下スニ痛マズ病人ノ精氣衰ヘズ
手法ハ左ノ手ニテ管ヲ穴ノ上ニ當テ針ヲ管ニ入テ右
ノ食指ヲ中指ノ後ニ重テ食指ノハラニテ針ヲクノ管ヨリ
出タル分ヲバギ下スウカフテハレケハ痛ム。一キホヒニ
ハレキ下スベレ管ノ持ヤウ、大指ト食指トニテ中ヲ
モチ中指ニテ肉ヲ推ヘ針ヲハレキ下シテ管ヲスキ去
右ノ食指大指ニテイカホトモ燃リ下ス下サズシテ静ニ
燃ルガカリニテ大方ノヤマヒヲ治スル。其樞ニ曰ク鍼大
ニ深キトキハ邪氣反テ沉ミヤマヒイヨク益スト有ルゾ

管鍼ノ寸法アリ。管ノ長ケ二寸五分。針軸ノ總寸八
 分。惣長二寸八分。管ヨリ針三分ナガシ針ノ形チ大
 ヲリ。スコレフトキガヨキゾ。細キハ針ノ中ヘリテ針口痛
 小兒ニ用ユル針モホク軸五分總寸二分。管一寸五
 分手法。右同事ナリ。針ノ流サ、ハシトイヘドモ或理
 ニ叶ハズ。其半ニ効有テ半ニ害在リ。或ハ半ニモ効アラザ
 ルモ有ル。其中ヲ撰ミテ。愚ヲ棄テ効有ルヲ書キ
 ノスルモノナリ。一文不通ノ族ヲ愚ガ宏才辨舌ヲ以テ
 自己ノ我流ヲ立諸人ヲタブラカシ針灸ヲホトコレテ人
 シナヤマスヤカラ多シ。ムコトニ深ク可慎哉。ヤマヒヲ
 醫西スルニハ。醫西經十四經并ビニ針灸ノ諸書ヲ明カ
 ニシテ。而後ニ治ヲホトコスベシ。

十四 管針之手法之事

クダハリノ圖



十五 砭針之事

軸一寸總六分總ノ太三麥ノチクホドニレ針尖ヲ三
ス錐ノ様ニシテ小兒針ノ管ニ入レテサテハシクゾ腫
物ノコヲアクル時日腫ノ血ヲ取時ケニキハ血ヲ取ル
時邪氣集リテイタミシ成ス時此針ヲ刺レテ血ヲ
抜ナリ奇驗アリ

十六 補瀉迎隨之事

手法ノ補瀉虛實ノ補瀉アリ先針鏹ヲロニフク三溫
針ヲノレテ右ノ肘ヲ向ヘリ手サキヲ内ヘカメ大指
サキヲ前向ヒ呼氣ニシタガヒテ食指ヲノヘ大指ニテ和ニ
撚リ下ストキ兜レテ曰ク五帝上直六甲玄靈氣
付至陰百邪閉理ト三篇念ス入コト二三分留コト

五六呼經ニシタガヒ病ニシタガヒテ撚リ下レ追退動撚
セシメテ氣ヲ至ラシム手ヲ振ヒ鍼ヲハシク徐々ニ
撚ニ隨ヒテ針ヲ出ス孔ヲ閉ヨ是手法ノ補ナリ
瀉ハ肘ヲサゲテ我が前ニ付手サキヲ向ヘナレ大指ヲ
サキニ向テ吸ニシタガヒテ撚リ下ス大指ヲ添ヘ食指
ニテ撚ルトキ兜ノ曰ク帝扶天形護命成矣ト誦
スルニトニ遍入コト三分留ルコト五六呼ニシテ經ニ迎
ヒ病ニ迎ヒテ撚リ下ス氣至テ左手ニテ鍼ノロヲ開
キ呼ニ隨テ針ヲ出ス孔ヲ閉サルガヨキゾ兜ヲ念スル時
ハ一心針ニ念ヲヨスゾ是手法ノ瀉ナリ婦人ハ是ニ變ス
補法ヲ瀉トシ瀉法ヲ補トス
虛實ノ補瀉ハ補ハ不足ヲ補ヒ瀉ハ有餘ヲ瀉ス不

足ハ瘡コナレ麻ヲ久有餘ハ腫ヲナレ癰ヲナス天民カ
正傳ニ曰ク其鍼ヲ刺ニ補瀉ノ法有リトイヘ氏予恐
ク俱ニ有漏無補ト云タゾレカレドモ此文段ニ針法
ノミニレテキ法論ナレヨリ以テラク靈樞曰ク欲以微鍼
通其經脈調其血氣當其逆順出入之會令可傳
後世必明為之法ヲアゲ又アルノ説ニ曰ク世俗ノ醫
者ガ云フハ針スルキハ氣カヲトロヘ病ニ宜レカラスト云
我イハタ針シテ人ノ氣カコトロト云フヲレラサルソ
ノレ人ノ病ハ邪氣勝テ正氣マクルゾ蓋シ針ハ邪氣ヲレリ
ゾケ元氣ヲ生スモノゾ豈針ヲ刺レテ氣カヲトロフト
云フ有ランヤ我俗醫ノ言フトコロノ意昔ヲウカバヒ
看ルニ只針ハ忍痛ノ勞アリ是ヲ以テ針スルトキハ氣

カヲトロフト云フゾイサカ針經ヲアキラメテ云フニハ
アラズマコトニコレ俗説ナリ不足信フゾレカリトイヘ
世人ノ能ク信ズルモノ俗説ナリ世人ノ信セサルモノハ
至言ナリ論ズルニ益ナキフゾ蓋シ二痛ミノ性無キ
フゾ痛ハトイタマサル刺者ノ能ト不能トニ依ルゾ若シ妙
手ヲ得フ有ラハ何ゾ忍痛ノ勞ト云フアラヤ故ニ是樞
ニ曰ク能刺者不傷肉而能中病トアルゾソモ針
ノ其來ルヲ尚キフゾ寧ア人ノ不能ヲ以テナカク萬
世ノ針法ヲスツルヲセシヤ針ニ忍痛ノ勞アルハ刺者ノ
不能ナリタゞ針ノミニアラス藥ニ於テモ亦然リ醫
ノヨシアレニヨツテ藥ノ人ヲコロス又針ヨリモスキタリ
モレ好手ニ逢トキハ針藥共ニ病ヲ治スルヲ愚手ニ逢

ニコトニ可^レ突^レ哉^ニ藥^ヲ治^スト云^ヒ灸^ヲ治^ストイ^ヒ針^ヲ治^スト云^ヒ
豈^レ病^ヲ治^スルモノ醫^ニア^ラザ^ラシヤ。醫^ニ師^トシ^テ針^ヲ
ヲ^シルハ武^士ノ兵^カヲ^シル如^キゾ國^ニ奸^賊アルト
キハ兵^カヲ^用ヒ人^ニ疾^病アルトキハ針^ヲ藥^ヲモ^チユ
タトハ藥^ハ智^仁ノゴ^トシ針^ハ兵^ノゴ^トシ智^仁ヲ^表ニ^シ
兵^ヲ裏^{ニス}ルトキハ剛^柔ソナハ^ツテ國^登ヲ^サミ^ラザ^ラシ
ヤ。クスリヲ^表ニ^シ針^ヲ裏^{ニス}ルトキハ強^弱カ^子テ^疾寧^愈
サ^ラシヤ。九^人ノ經^{十二}各^經五^穴アリ。并^榮俞^經
合^ト云^フ是^{ナリ}。五^ニシ^テ十^ニナルトキハ六十^穴ナ^リ。
コレ針^ノ要^穴ナ^リ。針^灸ノ穴^ニ身^ニ三^百六^十穴^ゾノ
針^スルトコ^ロノ要^穴六十^又ソノ要^{ナル}モ^ニ十^四穴^{ナリ}
腑^ノ病^ニ各^經三^依テ其^經ノ俞^ヲ刺^ス臟^ノ病^ニ各

經^ニヨ^ッテ其^經ノ合^ヲ刺^スコレ十二^俞十二^合ア^ラセ^テ二十^四
穴^コナ^リ。俞^ハコレ各^經ノ本^原ナ^リ。故^ニ又^原穴^トモ^名
ク^少其^經ニ^病アルトキハソノ經^ノ原^穴ヲ^刺シテ治^スルゾ。
ノ^經實^スルトキハ之^ヲ浮^シ虛^スルトキハコレヲ^補ス素^問ニ
曰^ク浮^ニハカ^ナラ^ス方^ヲモ^チヒ補^ニハカ^ナラ^ス圓^ヲモ^チユ。人
ノイ^ワク方^圓ノ義^イカ^ン予^ガイ^ク方^トハ氣^ノ方^ニ盛^チ
ントスルガ^{ナリ}。コレ氣^ノ盛^チサ^カチ^ラントス^ヲ見^コレ^テ迎^ヘテ
刺^シテ氣^ノ實^拔ク。故^ニ浮^ニハカ^ナラ^スモ^チユト曰^ク圓^ハ行^{ナリ}後^{ナリ}。
宜^{サル}ノ氣^ヲ行^シイ^タ復^{サル}ノ脈^ヲ後^スナ^リ。宜^{サル}
ヲ^スク^ラレ^イマ^ダ復^{サル}ヲ^後シ^テコレヲ^濟スコレ虛^氣ヲ^扶
助^シテコレヲ^補フナ^リ。迎^隨ノ義^{ナリ}。タトハ足^ノ三^陽ノ
經^頭ヨ^リ足^ニイ^{タル}マ^デ針^ヲ刺^スモノ、指^ヲ以^テ經^脈ヲ

摩リ上セテ針鉗ヲ上ニ向テ經脈ノスハニ逆テコレヲ
刺シテソノ實ヲ拔クコレ迎テ奪ノ義ナリ又刺入ノ
ユヒヲモツテ經ヲ摩下シテ針鉗下ニ向テ經脈ノ
後ニ隨テ刺シテソノ虛氣ヲ濟フコレ隨テ濟ノ義
ナリ處シテ脈滯テ移スカルガユヘニ後ニ隨テ刺シテ脈ヲ
移ラシメ氣ヲノビシタトハ牛勞シテ車移サルヲ人後
ニシタガフテソノ輪ヲ推シテカヲ牛ニアワセテ以テ車
ヲウツスカゴトキゾコレ隨フノ義ナリ經脈ハ子ヨリ午ニ
イタリ午ヨリ子ニイタツテ陰陽上下ノ分カンガフ
ベキナリイマソノ繩ヲアグルノニコニライテフカク思
惟共針ハ實ヲ奪ヒ處ヲスクフテモツテ經脈ヲトナ
ルモノナラン經脈メグラサルトキハ五藏六腑邪ノ受ク若

運用ノ途ヲ断ハズレ開格ノ憂ライカン蓋開格ハ命ヲ
盡サズシテ死ストコレ古人ノコトナリ針ハソレ急救ノ
方手ヨク刺ストキハソノ功藥ヨリモ早キゾ又經穴ニ
カ、ワズズシテ病ノ處在ヲ刺スコレヲ散針ト云徐氏又
コレヲ天應穴ト云フ今時ノ刺者多クハコレ散針ノ一法
ニタトヒ經穴ヲカガヘテ刺スモノアル也又迎隨道理ニ
的當セサルズ針ソノ經ニ當ルトイヘ凡迎テウハヒ隨
テハクフノ義ナレ長針ヲモツテフカク刺スユヘ經脈ヲツ
ラスキトナシテ針タレク臟腑ニ入テ損傷ヲナス古人
ノ禁戒スルトコトナリ又二針スルヲ數十日針藏腑ヲ損
シテ膿潰シテ死スルモノ兩人ヲ見ル世間クバク人カ此
ナランモロクノ經脈ニテ外ニアツテ針壞ニ入ルゾノ所ナレ

ツノ穴ニヨツテ針入ル一二分。或ハ二分半三分各分アリ。カルガユヘニ昔ハ周身三百六十穴。針モ又三百卒本有テツノ經ヲ刺ス。ツノ針ヲモツテス。ツノ針ヲ刺スモノヨク知レ。容易ニシテ深ク刺シテ。損セサルヲ。損ヲナシ傷レサルニ傷ヲ成スベカラス。抑予カ刺ス處ノ針ハ本邦針家ノ祖無分ノ末流ナリ。病ノ頭ニ在ルモ又腹ニ於刺レ病脚ニ在ルモ又腹ニライテ刺ス。一身ノ病都テ腹ニ於テ刺ス。ツノ針ニ次序アル。ツノ諸病先ツ臍ノ下一穴ヲ刺ス。コレ腎間ノ動氣ニ十二經ノ根本ナリ。コレヲ刺シテ以テ元氣ヲ却シテ而シテ後ニ散針ノ法ニヨツテ經穴ニ拘ラス。テ邪ノ所在ヲ刺シテ元氣ノ巡途ヲ開テ通セシムルトキハ氣順ズルトキハ痰順ズルトキハ痰順

トキハ熱散ス。熱散スルトキハ風内ニ消ス。泥ヤ又氣順ズルトキハ血活ス。血活スルトキハ潤ヒ生ス。ウルホヒ生ズルトキハ精生ズ。精生ズルトキハ神内ニ立ツ。蓋シ針ノ功ヲ成ス。ツノカク。ツノ古ハ人滿身ニ刺ヲ以テ好トセズ。俞原ヲ以テ好トス。腹ヲ刺ヲ以テ好トセズ。四肢ヲ刺ヲモツテ妙手トス。コレハタゞ臟腑ニ中ラシヲ恐レテ此ノゴトキゾ。タトヒ俞原ヲ刺スモ。又四肢ヲ刺スモ。意ヲ得サルトキハ不可ナリ。腹ヲ刺ス。凡意ヲ會得シテ刺可ナリ。古人腹ヲ刺ス。ツノ禁ムルハツレ針深ク入テハ藏府ヲ損ス。ツノ多シ藏府ヲ損ス。トキハ立ツ。ツノコロニ死セサレ。凡害ヲナス。ツノ予ガ刺ストコロノ針ハ針ノ銳ガ皮裡膜外ニ止ミツテ藏府ハ入ラサズ。針ガ藏府ハ入ル。アバ針

ヲ刺テモ功ナキゾノ故ナリト云フナレハ四氣外感ノ熱
七情内傷ノ火薰蒸シテ有膜乾枯シ膜外張煖ノ溫
熱ニ浮ククレテ垢ノ身ニシモガゴトシ又電ノ上ノ煤ノ
ゴトシ又嚴寒ニシテ霜ノ木ノ葉ニ浮フガ如クイウヤ又乾
枯スレバ鼓ノ皮ノ急張スルガコトキソカルガゴニ膜沉テ裡
ニツイテ藏府ヲ押ヘテ元氣ノ途ヲ絶スルゾゴトキニ當
テ氣留滯シテ諸病ヲ起スソ予ガ刺ストコロハ針銳ヲ
モツテ膜外ニ投シ之ヲレテ柔和ナラシムトキハ氣ノ途
ヒラクゾ氣ノミチヒラクトキハ血又順ル血スグルトキハ膜
モウルホヒラ得テイヨク柔和ナルゾカルカニニ病トゴ
ホルトコロナキゾ人ヲクハ針ヲ刺スヨノヲモキナレ針
藏府ニ入テ傷ヲナスゾ予カ刺ストコロハ今予カ限ルガ

ゴトキソ腹ヲ刺ストイヘドモナニヲソルハコロアランヤ内
經ニイワク痛々熱暉々脉應々汗大勞大飢大渴新飽
大驚等ミナ刺スフナレ又形氣不足病氣不足此陰陽
ミナ不足ナリゴレラ刺スベカラスコレラ刺ストキハサ子
ノノ氣ヲ竭ス老若ハ絶滅壯者ハ復セストアルゾモコトナ
ルカナゴノ言トシカレドモ經脉ヲ刺ノ針ハ脉中ノ氣ヲ
奪フエニミナコレヲ恐ルゾ予カ刺ストコロノ針ハ經
脉ノトコロヲ除テ俱膜ヲ刺シヤワラクルノ一德ノミ
扁鵲ガ孤膜ノ儀ナリ

十七 阿是之穴之事

阿是ノ穴ハ秘傳ナリルソ絡穴三百六十所ミナ經ノ
正道ナリ阿是ノ穴ハ三百六十所ノ外痛ムトコロヲ推シ

テ針灸ヲ行フコト阿是ノ穴ナリ。コレヲ天應ノ穴トモ又
 散針トモ云ナリ。シカルトテミダリニ行フニアラス。タトハ
 田ヲユクニ道ヲ行スレテ田ノ阿是ヲユクノコロナリ。道ニ
 アラ子ドモ田ノ中ヲユカズレテ阿是ヲ行ガコトキゾ。
 經絡ノ外ナレドモミダリニホドコスニアラス。道理ヲカガ
 針灸ヲナスモノナリ。ミダリホドストキハ人ヲナヤマス。シカル
 ニヨリ秘中ノ秘トシテコレヲユルサズ初學ノモノイタスコト
 ニアラス。ヨク經絡ヲ會得シタル者阿是ノ穴ヲ行フ
 ト奇驗アリ。

十八

手之指圖



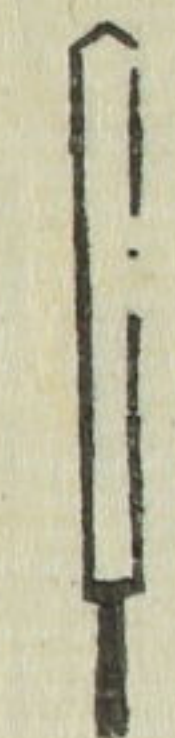
十九 針之圖之事
九針之圖

鑱針



鑱針ハ長サ一寸六分熱頭身ニアルヲ刺ス

圓針



圓針ハ長サ一寸六分間ノ氣ヲ刺ス

鍉針



鍉針ハ長サ三寸半脈ヲラレ邪氣ヲ刺ス

鋒針



鋒針ハ長サ一寸六分癰熱ニ刺ス血ヲ出ス

鉵針



鉵針ハハ二寸半長サ四寸癰ニ刺テ膿ヲ出ス

圓利針



圓利針ハ長サ一寸六分癰痺ヲトル

毫針



毫針ハ長サ一寸六分寒熱痛痺ニ刺ス

長針



長針ハ長サ七寸深邪遠痺ヲ刺ス

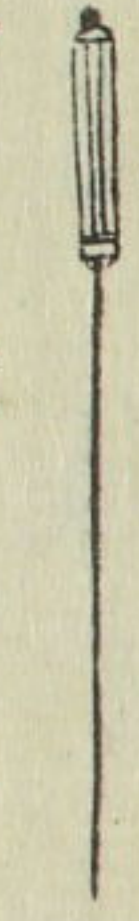
大針



大針ハ長サ四寸大氣關節ヲ刺ス

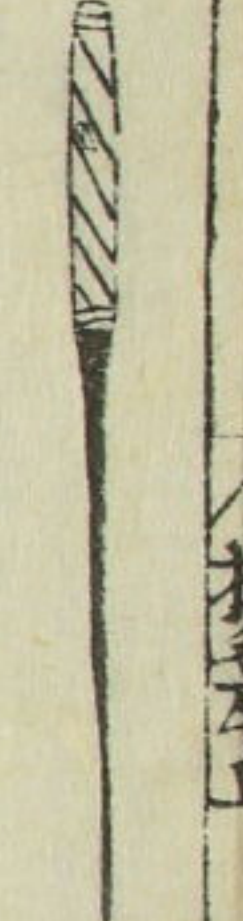
右九鍼ノ説靈樞九針論ニ具ニアリ

然針



然針ハ長短サミクアリ鉅者ノ氣ニ應ジテ勝ユシカレドモ長キハヨロレカラス軸六分穂一寸五分ヨリ二寸ミテガ大針ヨシ

打針



打針ハ軸一寸穂二寸二分也

管針

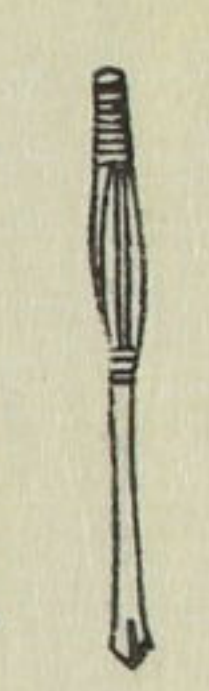


管針ハ軸一寸穂一寸八分又

ホ針ハ軸六分穂一寸二分長キハ大仁ニ用ユ針少

シフトレミシカキハ小兒又ハ大仁ニモ用ユ針モ少細

砭針



砭針ハ軸八分穂モ八分穂ノ太

ミ麥ノチクホドサキヲ三角ニトガス腫物ノ血ヲトル

ケズキニ刺シテ血ヲトル邪氣アツマリテ痛ミナス時此

針ニテ血ヲトル邪氣則サル

右當世ノ針ナリ理ハ和カナルヲモツテ勝タリトス昔ハ天

地萬物ノ精ミチ昌強ナルニ針モ大針法モ又シカナリ

今ノ人精力ヨハキニヨリ針モ細小ニシテ法モヤワラカ

ナルヲモツテ本トス

二十一 骨度之圖説之事

週身臟腑形狀

肝ノ重サ四斤四兩左リ三葉右リ四葉魂ヲ藏スヲ主

心ノヲモサ十二兩中ニ七孔ニ毛有リ精ヲ盛フニ合

神ヲ藏スヲツカサドル

脾ノヲモサ二斤三兩扁廣三寸長五寸散膏半斤血ヲ

裹ムヲツカサトル五臟ヲアタメテ魂ヲ藏フヲ主ル

肺ノヲモサ三斤三兩六葉兩耳凡八葉魄ヲ藏フヲ主ル

腎ニ兩枚アリ重サ一斤二兩志ヲカクスヲ主リ

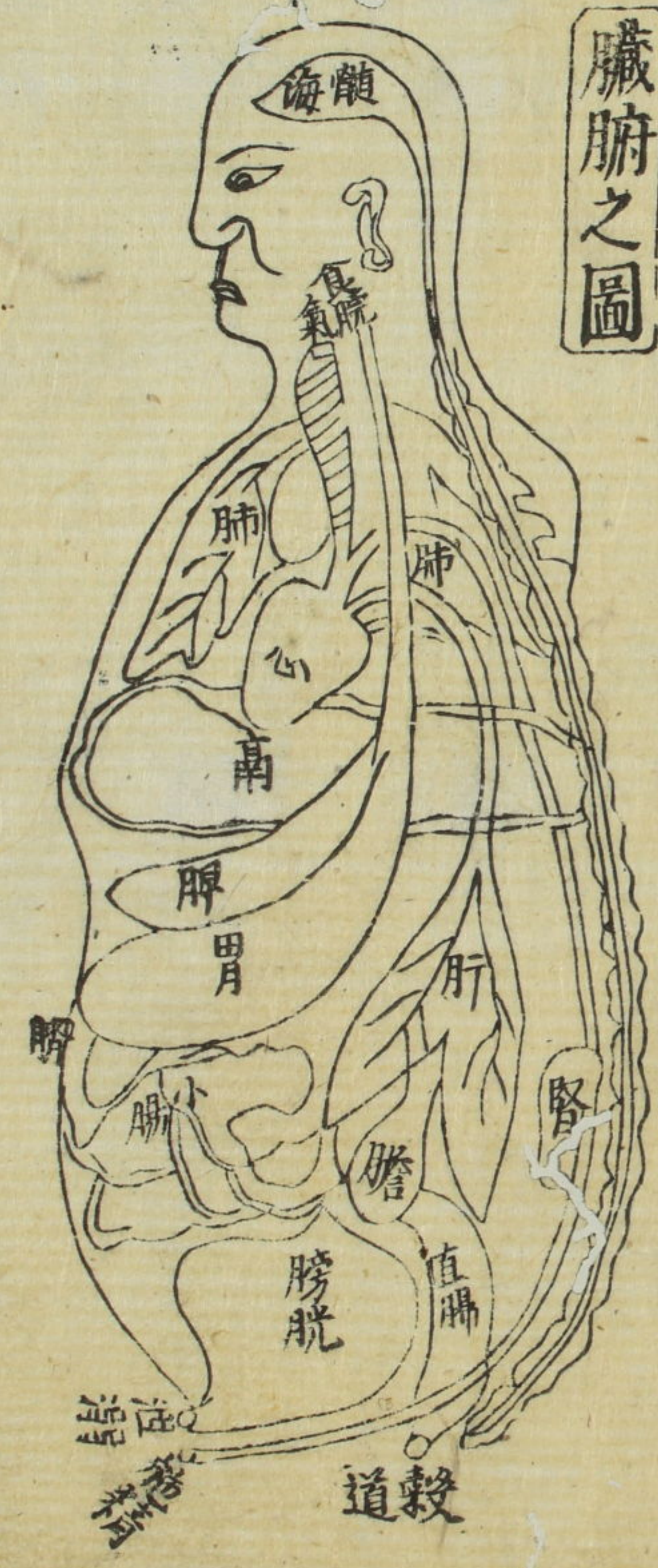
膽ハ肝ノ短葉ノ間ニアリヲモサ三兩三銖精汁ヲ盛

フニ合

胃ノ重サ二斤十四兩紆曲屈伸長二尺六寸大一尺

五寸徑五寸穀ヲ盛フニ斗水一斗五升
 小腸ノヲモサ二斤十四兩長二丈二尺廣二寸半徑八
 分分ノ必半左三廻リ疊積フ一六曲穀ヲ盛フ二斗
 四升水六升三合合ノ大半
 大腸ノヲモサ二斤十二兩長二丈一尺廣四寸徑二寸臍
 ニ當テ右三廻リ疊積フ十六曲穀ヲ盛一斗水十升半
 膀胱ノヲモサ九兩二銖縱ノヒヨサ九寸溺ヲ盛フ九升
 九合口ノ廣サ二寸半厚ヨリ齒ニ至テ長九分齒ヨリ
 以後會厭ニイタリテ深キフ三寸半大五合ヲ容ル
 舌ノヲモサ十兩長七寸廣二寸半
 咽門ノヲモサ十兩廣二寸半胃ニ至テ長一尺六寸
 喉龍ノ重サ十二兩廣二寸長一尺二寸九節

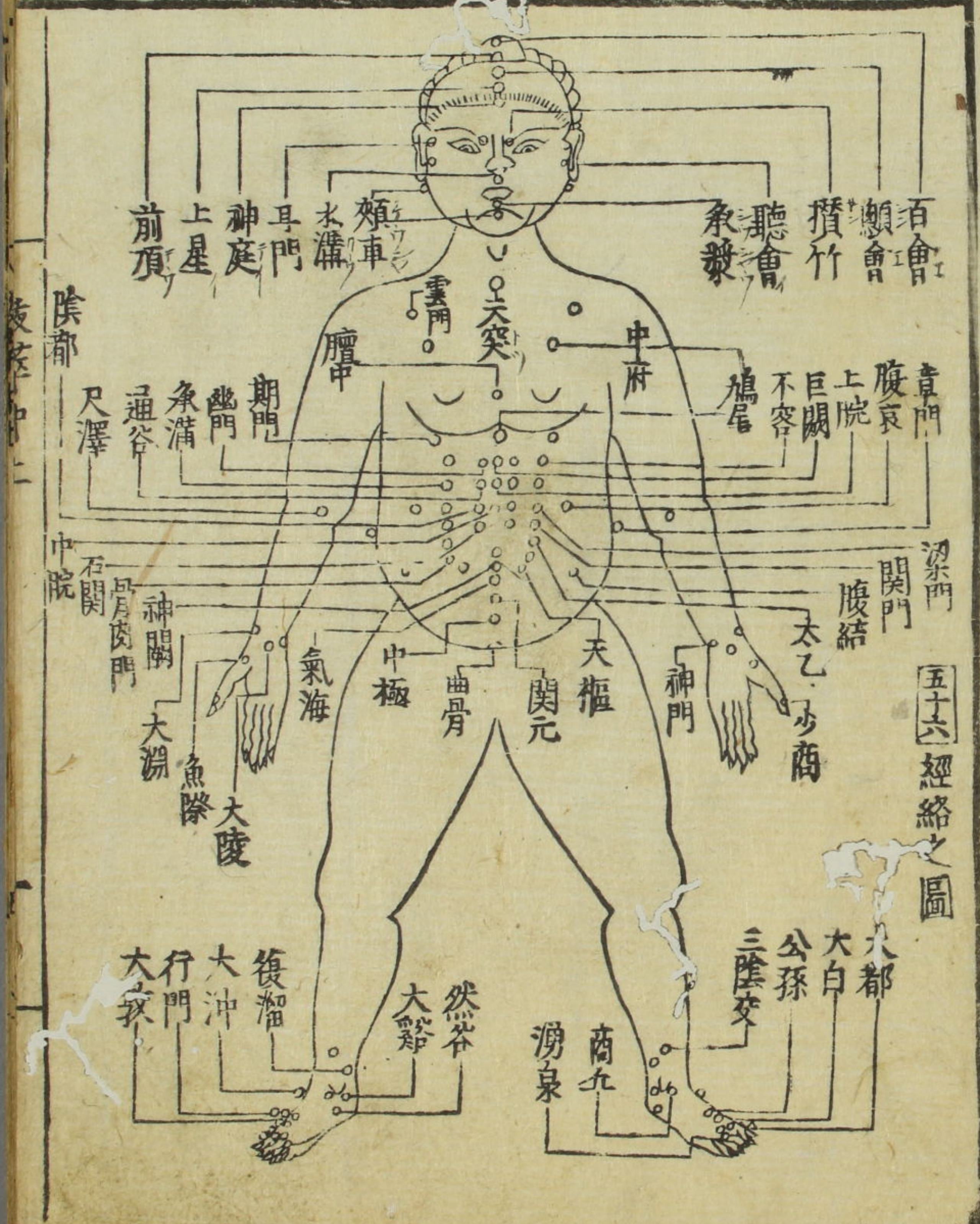
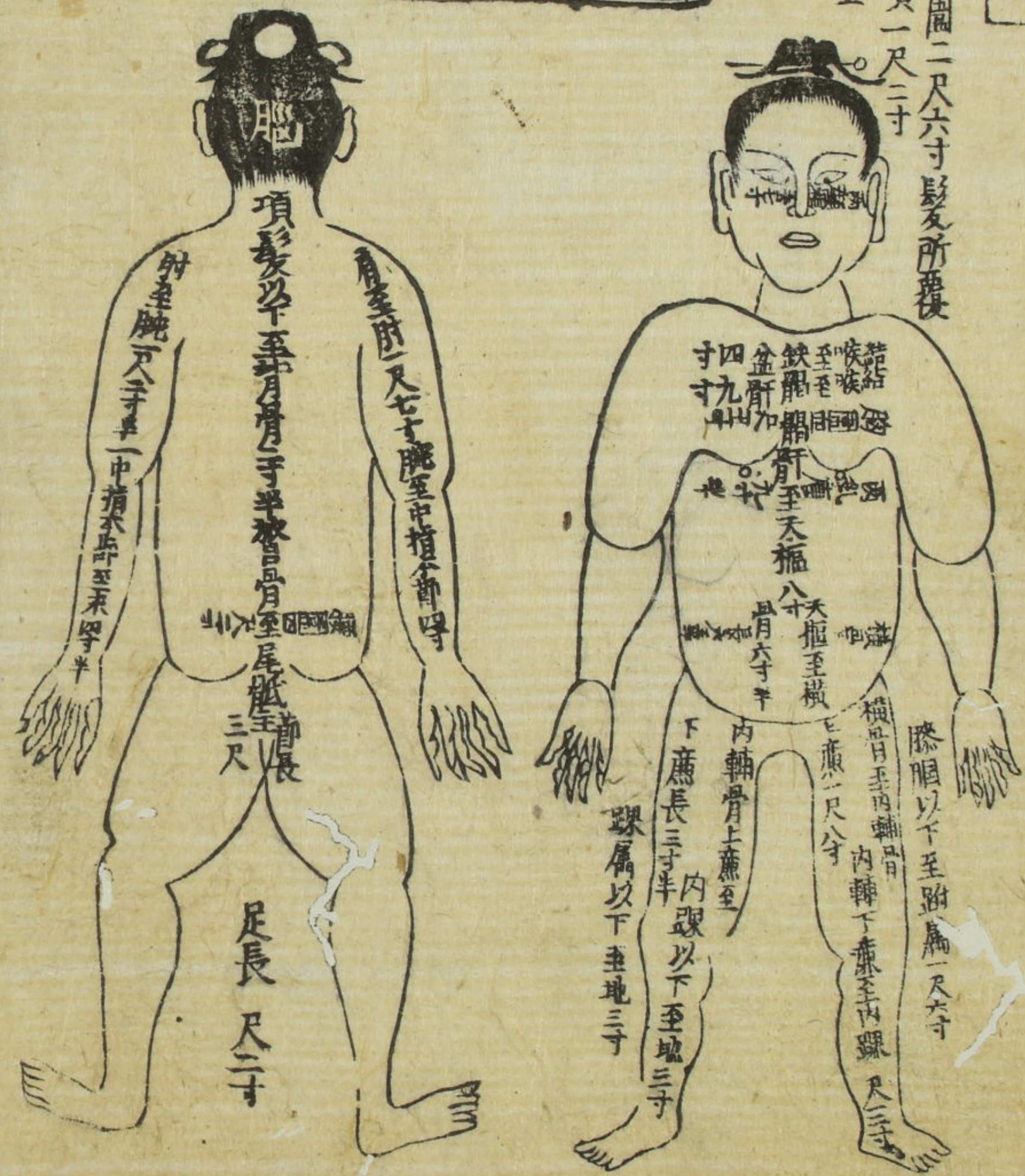
臟腑之圖

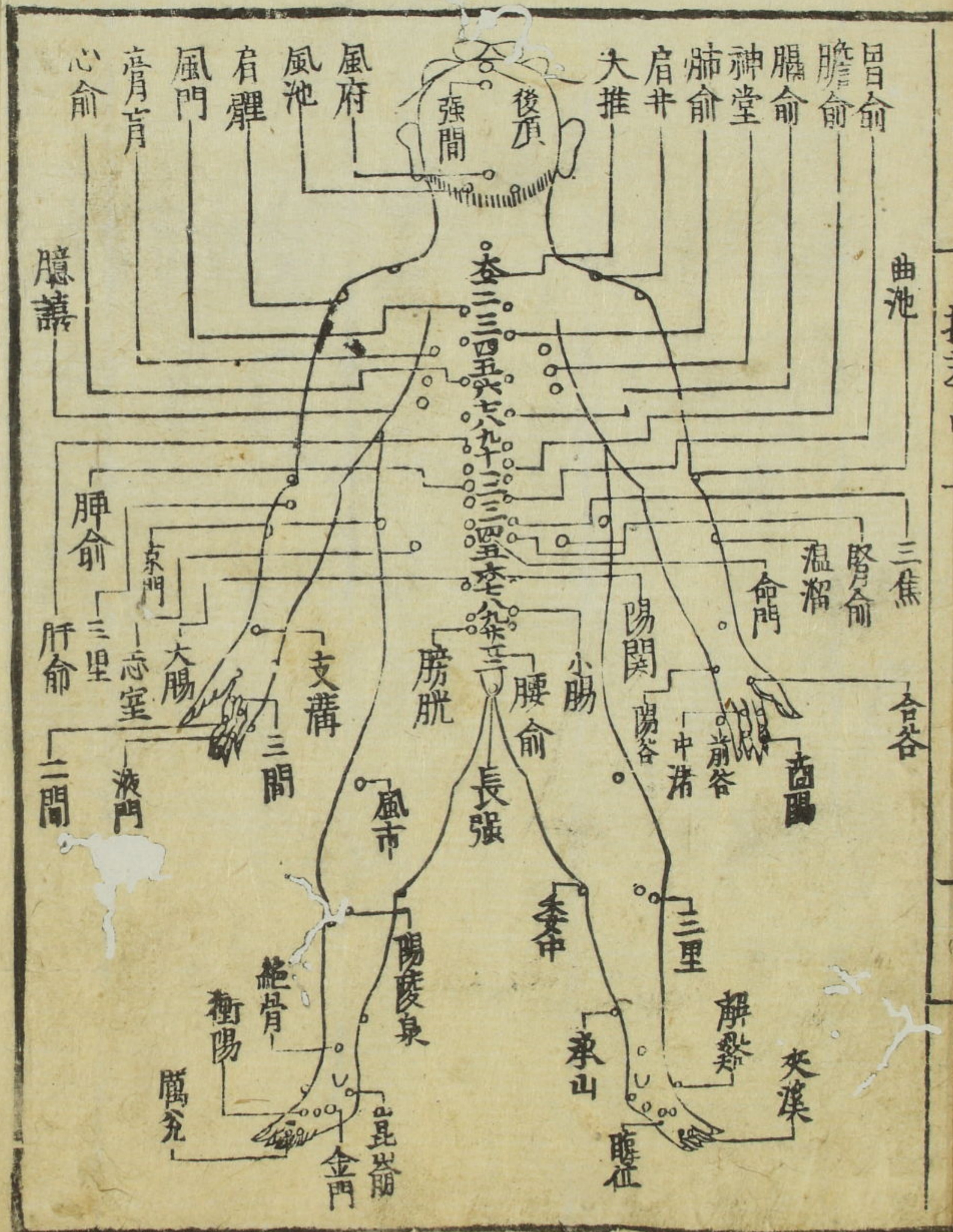


肛門ノ重サ十二兩大八寸徑二寸大半長二尺八寸
 穀ヲ受ルフ九升三合八分合ノ一

頭之大骨圍二尺六寸髮之所覆者顙至項一尺二寸髮已下至顙一尺

骨度圖





鍼灸拔萃中之上

經絡之圖說

頭面之部

百會 丁名ハ三陽五會一ノ 胆府ノ微一寸五分イタミキ
 中央旋毛ノ中豆ヲ含ルベシ。兩ノ耳ノトガリヨリ直ク
 性理ニ北溪ノ陳氏ガイク。畧此子ニ退ク。猶天ノ極
 星ノ北ニ居スルカゴトシ。三陽督脈ノ會。素註ニ鋪
 ニ分。銅人ニ灸七壯。七壯止ム。ヲヨソ 頭頂ニ灸ス
 ル一七壯ニ過ルヲ得ス。頭頂皮ウスキニヨツテ灸スニ
 ヨレカラス。鋪ニ分氣ヲ得テスナチ瀉ス。又素註ニ刺
 ス一四分。頭風中風言語 塞口禁レテ開カズ偏風
 半身力ナワス。心イキレモタヘ敬馬。健忘レテ前ヲワスレ。

後ヘヲウシテフ。心神恍惚トシテ心カナク、瘵癥脱肛
 風癰青風心風角弓反張羊鳴多哭シテ。語言擇
 ズヲコルトキスナハチ死シ。衄汗出テ、カラエツキレ飲酒
 シテ。面アカク。腦重鼻フサガリ頭痛目ミ。食スルニアチ
 ワヒナキヲツカサドル。百病ミナ治ス
 號ノ太子。尸厥シテ扁鵲三陽五會ヲ取ル。ズラク一ツテ
 太子ヨミカヘリ玉フ
 唐ノ高宗頭痛ス。秦ノ鳴鶴ガイタ。ヨロシク百會ヲ刺レ
 テ血ヲ出タスベシ。武后ノタマハク。豈至尊ノ頭上ヨリ
 血ヲ出スノ理アラシヤ。ステニシテコレヲ刺レテ。微シ血ヲ出
 レテ立ドコロニ愈ユ
 前項 頤會ノリヘ一寸半。骨ノアイタクホミノウチ

銅人ニ針一分灸三壯。七壯ニ止ム。素註ニ刺ス
 四分。頭風メニ。カホアカクハレ。水腫。小兒驚癇。
 瘰癧。腫レイタムヲツカサドル
 頤會 上唇ノリヘ一寸。クホミノウチ 銅人ニ灸二七壯
 七壯ニ至ル。初メ灸イタマス。ヤミ去テスナハチ痛ム
 イタマハ灸ヲ止ム。針二分留ムルニ。呼吸氣ヲ得テ
 スナハチ瀉ス。八歳ヨリ下。針スルヲ得サレ。頤門。イ
 マダ合サルニヨツテナリ。コレヲ刺セハ。ツラクハ。ツノ骨
 ヤブリ人ヲレテ。夫ナラシメシヲ。素註ニ針四分
 腦虚冷アルヒハ。飲食瀉ラク過シ。腦イタシテヤフル。
 ガゴトク。血面赤ク。ニワカニ腫レ。頭跛腫レテ。白瘡
 生ジ。風頭。顏アラク。メニ。鼻フサガリテ。香臭ヲ。

ス。故馬持目戴上人ヲ識ラザルヲツカサドル

上皇神聖 神庭ノレリへ。髮際ニ入一寸スホムウチ。豆

ヲ容ル 素問ニ針三分留アル六呼。灸五壯。ホソキ

三稜ノ針ヲモツテ。ヨロシク諸陽熱氣ヲ泄シテ。頭目ヲ

上衝セシムルヲナカルベシ。面アカク腫レ。頭風カレハレ。

皮腫レ。面虚シ。鼻ノウチニ彫凹イテ。鼻フサガリ。痰癰

振ヒサタリ。熱汗出デズ。目ミヒ目ノミナジリイタシテ。遠

クミルヲアタハズ。ロハナヨリ血出テ止ミザルヲ主元

神庭 直ニ鼻ノウヘ髮際ニ入五分。足ノ太陽腎脈ノ會

素註ニ三壯。銅人ニ灸二七壯。七々壯ニ止ム。禁鍼ナリ。

針スレバ發狂ヲ發ス。目ノヒトミラム。チフ 高キニア

ホリテ歌ヒ。衣ヲステハレリ。角張張吐舌。癰疾風

癰戴目ソラメツカヒレテハ。ツレラス。頭風スミヒ。鼻ヨリス、

バナイテ、止ミズ。目淚出テモノニラビキ。ハナサハキレテ

ヤスクイヌルヲ得ズ。嘔吐煩滿。寒熱頭痛。喘渴スルヲ

ツカサドル 張子和ガイハク。目イタミ。目ハレ翳腫ニ

神庭 上皇 願會 前頂ニ鍼シテ。翳者ハ立ドコロニリ

ヅカレムベシ。腫者ハ立コロニ消セシムベシ

擯竹肩肘 肩肘肩肘 兩ノ肩ノカレヲ。少クホミ。宛々丸中。

素註ニ針三分留アル六呼。灸五壯。銅人ニ禁鍼ナリ。

一分留アル三呼。瀉三吸。餘ムニ針ヲ出ス。ヨロシク細

キニ三稜ノ針ヲモツテ。コレヲ刺スヘシ。熱氣ヲ宣泄ス。三

度刺セバ。目大イニアキラカナリ。明堂ニヨロシク細キ

三稜ノ針ニ三分血ヲ出スベシ。灸一壯。目眩々トシ

モノヲニルアキラカナラス。ナミダ出テ目ニ。腫子瘰
目クラク。眼中アカクイタミ。及ビ臉瞤動。肝スノ得
ス。頰イタミ。カホイタミ。尸厥。癲邪。神狂。鬼魅。風眩。嘔
ツツカサドル

聽會聴會 耳中ノ珠ヲ。大キサ赤小豆ノゴトシ。手足
ノ少陽手ノ太陽ニ。脈ノ會 銅人ニ針ニ分。灸ニ
壯 明堂ニ針ニ分。甲乙針ニ分。失音。癲疾。心腹
ツカヘ。聾耳。ミミシヒ。モノ。フサカルカゴトク。聞クコト
ナレ。耳中。嘈々。濃々。トシテ。鵲ノツカサドル。
水瀦水瀦 人中ノ鼻柱ノ下。人中ノ鼻孔ニ近シ。クホミノ中。督
脈。手足ノ陽明ノ會。素註ニ針ニ分。留アル。六呼。灸
三壯。銅人ニ針。四分。留アル。五呼。氣ヲ得テ。即チ

瀦ス。灸針ニヲヨバス。日ニ灸スル。一ニ壯。明堂ニイワタ
灸三壯。二百壯ニ至ル。下經ニ灸スル。一五壯。消渴。水ヲ
ノムニ度ナク。水氣遍身腫レ。笑ヒシウシナク。テ時ナレ。
癲癩。語ニ。縛卑。シラス。タチ。チ。笑レ。タチ。チ。ヨロミブ。
中風。口禁。ミ。牙。関。開カズ。カホ腫レ。クチビル。ウゴキテ
虫ノ行クガゴトク。卒中。惡。鬼。擊。喘。渴。目。ミル。ニ。ミ。ス
黃疸。馬。黃。疸。疫。通。身。黃。ニ。シ。テ。ロ。ユ。カ。ム。一。ヲ。主。ル
承漿。懸。漿。銀。漿。ノ。下。ク。ボ。ミ。ノ。ウ。チ。ワ。開。キ。テ。コ。レ。ヲ。取。ル。
太陽ノ脈。胃ノ脈。督。脈。任。脈。ノ。會。素註ニ針ニ分。留
アル。五呼。灸スル。一三壯。銅人ニ灸七壯。七壯止
ム。明堂ニ針ニ分。氣ヲ得テ。スナハチ瀦ス。留アル。三呼
徐々ニ氣ヲ引キテ出ス。日ニ灸スル。一七壯。七壯ヲ過

停ル。四五日ノ後。灸七七。若シ下向ニ灸スル。フツラ
ク足ノ陽明ノ脉断ヘテ。ノノヤミヒ愈サシヲ。停息
シテ復灸スル。血脉ヲシテ。通達セシメシ。ノノヤミヒ立
トコロニ愈ユ。偏風半身カナク。口眼スジリユガミ面テ
腫レ。消渴。口齒。瘡ヲ生シ。暴瘡シテ。モノ云コト
アタハサルコトヲ。ツカサドル。難經ニイハク。任ノ病ヒス
フ。ソノ内結ヲクルム。男子ハ七疝ヲ爲シ。女子ハ瘕
聚ヲ爲スニ

後頂後頂 百會ノ上。一寸半。枕骨ノ上。銅人ニ灸
スル。五壯。針ハ二分。明堂ニ針スル。四分。素註ニ二
分。頭ヲウナジ。ツヨクヒキツリ。惡風寒。風眩。目眩。
リ。額アタノ上ヘイタミ。歷節シテアセ出デ。任ノ病ヒス

モノクルハシク。レ夜ル。肘サス。癰發。瘰癧。カレフノ。偏瘻。
ツカサドル

強間強間 後頂ノ上。一寸半。銅人ニ針。二分。灸ハ
七壯。明堂ニ灸スル。五壯。頭痛。ノミヒ。腦ノメグリ。
煩心。嘔吐。狂。ヒハシリ。肘サドルヲ
ツカサドル

風府風府 ウナジノ上。一尺。髮際ニ入ル。一寸。太衝ノウチ
疾ク言ヘ。ソノ肉立。トコロニ起リ。言休ハ立。トコロニ下ル。
足ノ太陽。督脉。陽維ノ會。銅人ニ針スル。二分。禁灸
ナリ。コレヲ灸スル。人ヲシテ音ヲウレナハシム。明堂ニ針
スル。四分。留ル。フ三呼。素註ニ針スル。四分。中風
舌緩クシテ。語ラス。振寒。汗出テ。身重クシテ。惡寒シ

ロヲヒラケバ空ニアリ銅人ニ針スル四分氣ヲ得テ
スナハキ瀉ス日ニ灸スル七壯。七壯ニ止ム。明堂
ニ灸スル三壯。素註針スル二分。中風。ハラクニ
ツメテ開カズ。口噤テモノイハレズ。失音。牙關ノ痛ミ
ヲトガヒ。頰腫レ。牙ニ物カミレズ。頸ヒキツリテ。迴轉ス
ルヲ得ズ。口眼ユガムヲツカサドル

耳聾 耳ノ前起肉耳缺ハクホミ中ニ當ル 銅人ニ針
スル二分留ムル三呼。灸スル三壯。下經ニ針灸
ナリ。有病ニ灸セハ三壯ニスギズ 耳鳴リテ蟬ノ声
ノゴトク。聾耳 膿汁出テ耳ニ瘡ヲ生シ。齒齲腐
ヒキツルヲツカサドル

風池 耳ノレリ。顳顬ノウレ。口脚空ノ下。髮際陷ノ中

コレヲ按セハ耳中ニ引ク。手足ノ少陽陽維ノ氣
素註ニ針スル四分甲乙ニ針スル二分 銅人ニ針
スル七分留ムル三呼。灸スル三壯。甲乙ニ針マ
寸二分。大風ヲ患フルモノ先補レ。後瀉ス。必患
ベキモノハ經ヲモツテコレヲ取ル。留ムル五呼。瀉ハ七吸
灸針ニヲヨバス。日ニ七壯。百壯ニイタル 洒淅シテ寒
熱傷寒。溫病。汗出テス。目眩キ。若シ久。偏正ノ頭痛
瘡癰。頸ウナジ。按クガゴトク。イタミテカヘリミルヲ得
ズ。目ニナミタ出テ。欠氣多ク。鼻衄。目ノミジリ赤ク。
氣發シ。耳フサカリ。目瞬ラカナフス。腰セナ俱ニイタミ
腰カミリ引キ。頸スチニカラナクシテ收マラス。大風。
中風。氣フサカリ。延レ上ツテ語ラス。昏危。瘳氣ヲ主

刺垣ガイハク。少陽ノ頭痛。風寒。上ヲヤブリ。邪外ニ從
フテ入ル。人ヲレテ。振寒。頭痛。身イタミ。惡寒。セシム。治
風池。風府ニ在リ。平安公。偏風ヲ患フ。甄權。風池
肩髃。曲池。支溝。五樞。陽陵泉。巨虛。下廉。二針
テスナハチ差ユ。仲景ガイハク。太陽病。初桂枝湯ヲ服
ス。反テ煩ノ解セサルモノハ。先ツ風池。風府ニ刺ス。却テ桂枝
湯ヲ與ヘテスナハチ愈ユ。

心腹之部

天突。大椎。頸ノ結喉ノ下。四寸。宛々タル中ニアリ。陰
維。任脉ノ會。銅入ニ針スル。五分。留ムル。一ニ呼。氣
ヲ得テ瀉ス。灸モ一タ得テ針ニヲヨハス。若シ針ヲ下
當ニ直下。手ヲ低ル。一ヲ得サルベシ。スナハチ五藏ノ氣

ヤブレテ。人短壽ナリ。明堂ニ灸スル。一五壯。針一分。
素註ニ針スル。一寸。留ムル。七呼。灸スル。一ニ壯。
面皮熱シ。上氣。欬逆。氣ニワカミ。喘シ。咽腫シ。ノドヒエ
コエヤブレ。喉中ニ瘡ヲ生ジ。ノド猜々トシテ。膿血ヲ
ハキ。瘡シテ。モノ云フ。アタハズ。身寒。熱。クビハレ。喘。
喉中鳴リ。翕々トシテ。水雞ノ声ノゴトシ。胸中ノ氣
鯁々トシテ。舌縫ヲ狭シ。青脉アリ。舌下急ニ心ト背
ト。相ヒキテイタミ。五噎。黃薄。醋心。多ク子ムリ。嘔吐
癭瘤ヲツカサドル。許氏ガイハク。コノ穴。一鍼シテ。四
ノ効アリ。ヲヨソ針ヲ下シテ。後チヤ、久シウレテ。先
脾食ヲ磨シテ。鍼動ヲ覺フ。ヲノ効ト爲。次ニ針。病
根ヲヤブリ。腹中ニ声ヲ作ス。ニヲノ効トス。次ニ覺フ。勝

耽ニ流入シテニツ効トス。然レテノキヲボフ氣流行
シテ。腰后腎堂間ニ入テ。四ツノ効トス。

臆中臆中名

王堂ノ下。一寸六分。兩乳ノアイダ。クボミ

ノウキ。アヲノケ。卧サシテ。コレヲ取ル。中氣ヲツカサド
ル。以テ陰陽ヲ分布ス。カルガユヘニ臣使ノ官トフ

難經ニイワク。氣ニ焦ニ會ス。陳氏曰。二焦一筋兩

乳ノアイダニ直ニス。疏ニイハク。氣病コレヲ治ス。

銅人ニ禁鍼ナリ。コレヲ針ス。六人ヲシテ灸ナラシム。

明堂ニ灸ス。一七壯。七々壯ニ止ム。氣府論ノ註ニ

針ニ二分。灸ス。一五壯。上氣。短氣。欬逆。噎氣。胃

氣。喉鳴リ。喘。食ヲ下サス。中。フサカルガゴトク。

心。肺。イタミ。風痛。咳。嗽。肺。癰。垂。膿。嘔。吐。ヨダレ。

ヲフキ。婦人ノ乳。針。スクチキヲツカサドル

雲門

巨骨ノ下。氣。カ。タハラヲサレハサミテ。一寸クボ

ミノナカ。動。脈。手ニ應ス。臂ヲアゲテ。コレヲ取ル。胸ノ

中行。任。脈。ヲ去リ。兩旁。ア。ヒ。去ル。各。六。寸。素。註。ニ

針。ス。一。七。分。銅。人。ニ。針。ニ。分。深。キ。一。ヨ。ロ。レ。カ。ラ。ス。フ。カ

キ。ト。キ。ハ。氣。逆。セ。レ。ム。灸。ス。一。五。壯。傷。寒。四。肢。熱。ヤ

ミ。ス。欬。逆。短。氣。氣。ノ。ホ。リ。テ。心。胸。ヲ。衝。キ。脇。ヨ。リ。背

ニ。ト。ラ。リ。テ。イ。タ。ミ。喉。痺。肩。セ。ナ。カ。イ。タ。ミ。臂。ア。ク。ル

ヲ。得。ズ。癰。氣。ヲ。ツ。カ。サ。ド。ル

中府

雲門ノ下。一寸。乳ノ上。三。肋。ア。イ。タ。動。脈

手ニ應ス。クボミノウチ。中行ヲ去ル。六寸。肺ノ募

募。ハ。大。陰。脾。ノ。會。銅。人。針。ニ。分。經。氣。コ。ニ。ア。リ。ル。足。ノ。大。陰。脾。脈。ノ。會。銅。人。針

十

スルヲ三分。留ムルヲ五呼。灸スルヲ五壯。埤雅ニハク。壯ハ壯入ヲエツテ。壯トスル也。
 腰脹リ。四肢腫レ。食下タラス。喘氣胸ツカヘ。肩セナカ。イタ
 ミ。嘔逆。上氣。肺系ヒキツリ。肺ノ寒熱。胸棟々タリ
 膽熱。欬唾。濁涕。風汗出テ。皮膚痛。ヲモテウツハレ。少氣
 卧ス。フヲ得ズ。傷寒。胸中熱シ。飛尸。遁症。癰瘤ヲ主
 鳩尾一名鳩尾。一名鳩尾。一名鳩尾。蔽骨ノ端。臆ノ前。蔽骨ノ下。五分ニアリ。
 人ニ蔽骨ナキモノハ。岐骨ノアイダニ從フ。下行一寸ナリ。
 コノ穴ヲ鳩尾ト言コ。口ハ其ノ骨垂下リ。鳩ノ尾ノ形
 ノゴトシ。脈ノ別。銅人ニ禁灸ナリ。コレヲ灸スレバ。求世
 人ヲシテ。心カ少ナカラシム。大妙。和ノ方ニ針スベシ。然
 フスハ。針氣ヲ取ル。タク人ヲシテ。大セシム。針スルヲ三分
 留ムルヲ二呼。瀉五吸。肥人ハ。コレニ倍ス。明堂ニ灸スル

ヨロコシカラフツヤレ。發狂。少氣。腹イタミ。黃疸。急症。急
疫。咳嗽。狐疝。小腹痛リ。噫煩熱。胃中糾結。五藏ノ
氣相ヲカレ。卒心イタミ。尸厥ヲツカサドル

妊娘ノ子。心ニコミアゲ。昏悶。巨悶ニ刺レテ。針ヲモス。
人ヲレテ立トコロニ。ヨミカヘツテ。悶ヘサレム。次ニ合谷ニ
補シテ。二陰交ヲ瀉ス。胎ニ針ニ應レテ落ツ。子ノ手
心ヲ擲ムカゴトク。生テ下ル。手ニ針ノ痕アリ。頂母心
前ニ向ヘハ人中ニ針ノアトアリ。后ニ向ヘハ枕骨ニ針
ノアトアリコレレナリ

按スルニ。十四經發揮ニイハク。凡ソ人。心下ニ膈膜アリ。
前鳩尾齊ク。后ヘキトニ椎ニヒトシ。同躋テ脊
著ク。濁氣ヲ遮隔シ上心肺ヲ薰セシム所以是

心膈上ニ在リ。難産ノ婦。若シ予上衝テ。膈ニ至ル
トキハ止ム。兎ノ腹ニ在テ指ニイマダ物ヲトルヲ能
ハズ。ナツカタク。ニギシテ。伸ビサルモノナリ。又胞衣
アリ。コレヲ褰ム。豈ニヨク。昂ヲヤフリテ。心ヲトノ
ンヤ。心ハ一身ノ主タリ。神明焉ニ出ヅ。小レキ犯ス
トコロ有ル容ラス。豈ニ衝刺セラレテ。死セサルヲ有
ランヤ。ケダレソノ上衝テ。心ニ近キヲモツテ。カルガニニ
云フノニ。胃脘痛ヲ。心痛ト云フゴトキノ類コレナリ。
學者辭ヲモツテ。意ヲ害スヘカラス

上脘ノ巨闕ノ下一寸。一寸五分ニ當ル。蔽骨ヲ去ル
膈ノ上五寸。上脘。中脘。胃ニ屬ス。脾ヲ絡ル。足ノ陽
明。手ノ太陽。任脉ノ會。素問。銅人ニ針スルハ八分

先ニ補シ後ニ瀉ス。風癰熱病ハ先ニ瀉シ後ニ補メ立ト
コロニ愈ユ。日ニ灸スルー一七壯百壯ニイタル。イニタ愈
スバコレヲ倍ス。明下ニニ壯腹中雷ノゴトクニ鳴
根逐フ。食化セズ。腹疝刺痛。霍乱吐瀉。腹痛身熱
シ。汗出デズ。翻胃嘔吐。食下ラス。腹脹リ。氣滯心
驚悸。時ニ嘔血。痰ヲクヨダレヲ吐キ。奔豚。伏梁
三虫。ニワカニイタミ。風癰熱病。馬黃。黃疸。積聚堅
ク。大キニシテ盤ノゴトク。虚勞吐血。五毒瘡。食スル
アタハサルヲツカサドル

中脘一名太倉 上脘ノ下一寸。臍ノ上四寸。心蔽骨上臍ノ
ナカニ居ス。胃ノ募手ノ太陽。少陽。足ノ陽明。任
脈ノ會。上紀ハ中脘ナリ。胃ノ募ナリ

難經ニイハク。腑中腑ニ會ス。病コニ治ス。銅人ニ針
スルハ八分留スルヲ七呼。瀉五吸。疾針ヲ出ス。灸スルー一
七壯二百壯ニ止ム。明堂ニ日ニ灸スルー一七壯四自壯
ニ止ム。素註ニ針スルー一寸二分。灸スルー七壯
五臟喘息止マス。腹ニワカニ脹リ。中惡脾疼。飲食ス
マズ。翻胃。赤白痢。寒癖。氣疝。心伏梁。心ノ下サカツキヲ
ヲホフガゴトク。心フクレ脹リ。面色ナエ黄ハ三。天行傷寒。
熱ヤマス。溫瘧。先ツ腹イタミ。先ツ瀉シ。洩出シテ知ラス。
食飲化セス。心イタミ。身寒。僂仰スルーアタス。氣發發熱ヲ
ツカサドル。東垣ガイハク。氣。腸胃ニアルモノコレヲ足
太陰陽明ニ取ル。下ラスバ。三里。章門。中脘ニ取ル
ヌイハク。胃虛シテ。太陰。稟ルトコロナキヲイタスモノ

足ノ陽明ノ募穴ノ中ニライテコレヲ道郛ス
 水分 下腕ノ下一寸。臍ノ上一寸。穴ハ小腸ノ下二當ル。
 コニニイタツテ清濁ヲ泌別ス。水液膀胱ニ入ル。渣滓木
 腸ニ入ル。カガユヘニ水分ト云フ。素註ニ針スル一吋
 銅人ニ針スル一八分。留ムル一三呼。瀉五吸。水病ニ灸ス
 ル一六三良シ。又イハク。禁鍼ナリ。コレヲ針スレバ水盡テ
 スナハチ死ス。明堂ニ水病ニ灸スル一七六壯。四百壯ニ
 止ム。針スル一五分。留ムル一三呼。資生ニイハク。針セサ
 少是トス。水病。腹カタク腫テ鼓ノゴトク。轉筋食ヲ
 嗜ナク。ス。腸胃ムナシク脹リ。臍ヲスグシテイタニ。心ヲウ
 レエ。腰セナカヒキツリ。腸鳴。狀チ雷。聲ノゴトク。心ノホリ
 ウレヘ鬼撃手。鼻ヨリ血出テ。小兒胎前ヲツカサトル

神關 氣 臍ノ中ニ當ル。素註ニ禁鍼ナリ。コレヲ針ス
 レバ人ヲレテ臍ノ中惡癆潰失出ルモノハ死シテ治セ
 サラシム。中風。魁ヘラス。久シクヒエ。藏府ヲ傷敗シ。溼
 利止ス。水腫鼓ノゴトク。脹リ。腸鳴。腹痛。臍ヲメグリ。
 小兒奶。初絶ス。脫肛。風癰。角ヲ反張。ツツカサド。
 徐平仲ガイハク。中風。魁ガヘラス。桃源。薄爲ニ臍ノ中ニ
 灸スル一。百壯。始メテヨニカハル。起サレハ再ビ百壯ヲ灸
 氣海 一。各。下。臍。ホゾノ下。タ。一。寸。半。宛。ミタル中。男子。生氣
 ノ海。銅人ニ針スル一八分。氣ヲ得テ瀉ス。瀉シテ後
 ヨロシクコレヲ補スベシ。明下ニ灸スル一七壯。
 傷寒。飲水過多。腹腫脹。氣喘。心ノ下。タイタニ。冷病
 フモテアカク。藏處ニ氣ツカレ。真氣不足。一切ノ氣疾

久シク差入肌體羸瘦四肢カヨク。賁豚七疳小腸
癰腫腎餘リ癰瘕結塊狀チサカツキヲ覆フカゴトク
腹ニワカニ脹リコレヲ按共下ラス。癰下冷氣痛三中
惡脫陽シテ死セト欲レ大便通セズ小便アツクニワ
カニ心イタミ。婦人經行ニ臨ミ房シテ羸瘦ニ崩中赤
白帶下。月事トノズ産後ノ惡露止ス臍ヲメグリ
疳痛。悶著腰イタミ。小兒遺尿ヲツカサド
浦江ノ鄭義宗。帶下ヲウレフ。昏目ソラスカヒレ瘦
汗泄ケ脉大コレ陰虛陽暴絶レコレヲ病後ノ酒
色ニ得ル。丹溪爲ニ氣海ニ灸シテヤウヤクヨミカヘル。
人參多膏數片ヲ服シテ愈ユ
関元 ホリノ下ノニ寸小腸ノ募。足ノ三陰任脉ノ會

下紀ハ関元ナリ 素註ニ刺ス一吋二分留ルコト
七呼灸ス一七壯 又イハク針ス一吋 銅人
ニ針スル一八分留ムル一三呼瀉五吸灸スル一白
壯三百壯ニ止ム 明堂ニ振婦ニハ禁鍼ナリ若シ
針スレバ落胎ス胎多ク出デザルニハ外崑崙ニ針ス
バ立トコロニ出ツ 精冷虛乏ホリノ下タ絞リイタミ
陰中ニ流入シテヲコリヲツテ時無ク冷氣結塊
イタミ寒氣腹ニ入ツテイタミ失精白濁瀝血暴
疳風眩頭痛轉筋トチツサカリ小便通セズシテ
黃ハニアカク勞熱石淋五淋洩利奔豚心ニアツル
婦人帶下月經通セズ絶嗣生セズ胞中トチツサガ
リ胎漏下血産後ノ惡露止セサルヲツカサド

中極ノ名氣血 関元ノ下タ一寸。ホクノ下タ四寸。膀胱ノ募。足ノ三陰。任脈ノ會。銅人ニ針スル一六分。留ムル一十呼。氣ヲ得テスルハチ瀉ス灸スル一百分。明堂ニ灸。針ニヲヨハス。日ニ三七壯。下經ニ灸スル一五壯。冷氣積聚時ニ心ニツキアゲ。腹中熱シホゾノシタ。結塊。賣膠。心ニアツリ。陰汗。水腫。陽氣。虚シツカレ小使シキリニシゲク。失精。絕子。疝瘕。婦人フルチ行ハス。胎衣下ラス。胎事トノヲス。血結塊ト成リ。手門腫レイタニテ。端シカラス。小腹苦シクイタニ。陰カエクレテ。無陰イタニ。恍惚トシテ。尸厥シ。包ヘテ食スルヲマタズ。經行ニシタミ。房シテヤセ。寒熱。淋瀝。尿ヲ得ハルヲツカサトル。婦人ノ斷結。四度針スル

スナハチ子有リ 頭骨 橫骨ノ上中極ノ下タ一寸。毛際ノクホミノナカ。動脈手ニ應ス。足ノ厥陰。任脈ノ會。銅人ニ灸スル一七壯。七七壯ニイタル。針ニ一寸。素註ニ針六分。留ムル一七呼。又イハク。針スル一寸。失精。五藏。虛弱。虛乏。冷極。小腹脹リミチ。小便淋瀝。通セズ。瘕病。小腹痛。婦人赤白帶下。ヲツカサドル 明堂ニイハク。巨闕ノカタワラ一寸五分。千金ニイハク。巨闕ヲサレサニテ一寸。經任脈ニ針スル一寸。灸スル一五壯。衝脈ノ會スルコロ。銅人ニ針スル一寸。灸スル一五壯。小腹脹リ。滿チ。嘔吐。涎沫。コシ。不睡。煩悶。胸イタニ

胸中滿チテ食ヲ噎ナス。逆氣怒キシ。健忘洩利。腹
血目アカクイタミ。内ニシリヨリ始メ。女子。心腹逆
氣ヲツカサドル

通谷 幽門ノ下一寸。上臍ヲサレハサニ。兩旁相去
一五分。素註ニ一寸。十四經發揮ニ一六分。商
賁ヨリ通谷ニイタル。腹ノ中行ヲ去ルヲノク五分
素註ニ。臍俞ヨリ幽門ニ至ル。中行ヲ去ルヲノク
一寸。足ノ少陰。衝脈ノ會。鍼入ニ針スル一五分。灸
スル一五壯。明堂ニ灸スル一ニ壯。失欠。口ユカニ。食
飲ヲノデ。カラエツキシ。暴瘡シテモノイフ。アタハス。
結積。留飲。痰癖。ム子滿チ。食化セズ。心恍惚トシテ
喜。嘔レ。目アカクイタミ。内背ヨリ始ムヲツカサドル

陰都新名

通谷ノ下一寸。胃脘兩邊ヲサレハサニ。相去
一五分。素註ニ一寸。足ノ少陰。衝脈ノ會。鍼入ニ
針スル一ニ五分。灸スル一三壯。心滿チ。逆氣。腸鳴リ。
肺脹シ。氣膈ノ下ニアツマリ。熱シイタミ。目アカクイタ
ミ。内ニシリヨリ。始ムヲツカサドル

石關

通谷ノ下一寸。腹ノ中行ヲ去ルヲノク五分。
素註ニ一寸。足ノ少陰。衝脈ノ會。鍼入ニ針スル一
寸。灸スル一ニ壯。噦意。嘔逆。腹痛。氣淋。小便黃。
大便通セズ。心ノ下カタク滿チ。ゼナカヒキツリテ。秘セ
ズ。多唾。目アカクイタミ。内ニシリヨリ始メ。婦人。子藏
惡血。有リ。血上。顔シテ。腹痛。忍ブ。カラザルヲ主
不密。幽門ノカク。今相去ルヲノク一寸五分。中行

脈ヲ去ルヲノクニ寸。上腕ノ兩旁ヲノクニ寸。直
ニ四筋ノアヒダ。銅人ニ灸スルヲ五壯。明堂ニ灸
三壯。針スルヲ五分。素註ニ針スルヲ八分。
腹滿チ。痰癖。唾血。肩脇イタニ。口カキ心イタニ
テ。背ト相ヒキ。效ス可カラズ。效スルトキハ肩ニ引
テイタニ。嗽喘。疝瘕。食ヲ嗜ム。大腹。虚鳴。嘔吐
痰癖。ツカサドル

承滿。不容ノ下タ一寸。中行ヲ去ルヲノクニ寸。
銅人ニ針スルヲ二分。灸スルヲ五壯。明堂ニ灸スル
三壯。腹鳴。腹脹。上氣喘逆。食飲クタクス。煩息
唾血。ツカサドル

梁門。承滿ノ下タ一寸。中行ヲ去ルヲノクニ寸。

銅人ニ針スルヲ二分。灸スルヲ五壯。脇ノ下タ。積氣食
飲思ハズ。大腸滑泄。完穀化セザルヲツカサドル。
関門。梁門ノ下タ一寸。中行ヲ去ルヲノクニ寸。銅人ニ針
スルヲ八分。灸スルヲ五壯。喘滿。積氣。腸鳴。ニワカニ
イタニ。泄利。食ヲ欲セス。腹中氣ハレリ。臍ヲサレハサシデ
ヒキツリイタニ。身腫。痰瘧。振寒。遺溺スルヲ主ル。
太乙。関門ノ下タ一寸。中行ヲ去ルヲノクニ寸。銅人ニ
灸スルヲ五壯。針スルヲ八分。心煩。癲狂。吐舌ヲ主
骨肉門。太乙ノ下タ一寸。下。ホゾノ下タ一寸ヲサレハサシデ。太
樞。ニイタル中行ヲ去ルヲノクニ寸。銅人ニ灸スルヲ五
壯。針スルヲ八分。癲狂。嘔逆。吐血。重舌。舌コハキヲ
ツカサドル

天樞一名長強 有俞ヲ去ル半寸。臍ノ中ヲサレハサデ
兩旁ジクニ寸クホミノ中。大腸ノ募。銅人ニ灸スル
一五壯。濟生拔萃ニ灸スル百壯。針スル五分留
ムル十呼。千金ニイハク。魂魄ノ舍。針ス可カズ。素註
ニ針スル五分留ル七呼。奔豚泄瀉シテ脹イタミ。
赤白痢水痢止マズ。食下ラス。水腫腹脹リ。腸鳴リ。上
氣胸ニ沖ク。久シク立ツアタズ。久積冷氣臍ニヌク
リテ切りニイタミ。時ニ心ニ沖クノホリ。煩滿シ。嘔吐霍
亂。冬月ノ寒ニラカサレ。泄利。瘧ノ寒熱。狂言。傷寒ノ
飲水過多ニシテ。腹脹リ。氣喘シ。女子ノ癥瘕。血結シテ
塊ヲ成シ。漏下。赤白帶下。月事時トラザルヲ主トル
期門 直乳二肋ノ端シ。不容ノカハラ。一寸五分又イハク

乳ヨリ直ニ下タ。一寸半。肝ノ募。足ノ厥陰。太陰會
銅人ニ針スル四分灸スル一五壯
胸中煩。熱シ。賣豚。上下目青クシテ。カラエツキ。霍亂
洩利。腹カタク。硬大。喘ノヤスク。卧スヲ得ス。脇ノ下タ。
積氣。傷寒。心切りニイタミ。ヨロコンテ。嘔酸シ。食飲下
ス。食後ニ水ヲ吐キ。ム子。ワキイタミ。支滿シ。男子。婦人
血結シ。胸滿チ。カホアカクシテ。大イニ燥キ。口乾キ。消渴
胸中イタミ。テ忍ブ可カラス。傷寒。經ヲ過ギテ解ケズ。
熱。血室ニ入り。男子ハスナチ。陽明ニ由リテ傷シ。下血
譫語シ。婦人月水タマニキタリ。邪。虛ニ乘リテ入
及ビ。產後ノ餘疾ヲツカドル
仲景ガイハク。傷寒。腹滿チ。譫語シ。寸脈微ニシテ

緊コシ肝脾ニ乗バナリ各ツケテ縦ト云フ期門ヲ刺ス
傷寒ニシテ熱シ膏トトシテ惡寒シテ大イニ渴シテ水ヲ欲ス
其ノ腹カナラズ蒲チ自汗出テ小便利シテ病解ト
欲ス肝脾ニ乗バナリ各ツケテ横ト云フ期門ヲ刺
又イハク太陽ト少陽トノ併病頭ウナレ強クイタミ
アルヒハ眩暈シ時ニ結胸スルガゴトク心下否鞭ノ者ニサニ
太樞第一胸肺俞肝俞ヲ刺スベレ慎ンテ發汗スベ
カラス發汗スルトキハ譫語ス五六日譫語止ニス公サニ
期門ヲ刺スベレ又イハク婦人ノ中風發熱惡寒經水
多クノキタリコレヲ得ヒ八日熱除キテ脉遲身涼ク
胸ノキノ下タ蒲チ結胸ノ狀キノゴトク譫語スルモノ
ハコレ熱血室ニ入ルト爲マサニ期門ヲ刺スベレ

又イハク陽明ノ病下血シ譫語スル者ハ熱血室ニ入ト爲
但シ頭汗出ルモノハ期門ヲ刺ス王叔和カイハク少陰
ノ脉至ラズ腎氣微少ニシテ精血奔リ氣促迫シテ
上ツテ胸膈ニ入り宗氣反テアツリ血心下ニ結陽
氣退ゾキ下リ熱陰股ト陰ト歸リ相ニ動キテ身ヲシ
不仁ナラシムコレ肝厥ト爲ニサニ期門巨闕ヲ刺ベレ
一婦人熱血室ニ入ルヲ患フ醫者有識ラス許學士
カイハク小柴胡ステニ遲レニサニ期門ヲ刺スヘレ予
針スルヲアタハズ善ク針スルモノヲ請フコレヲ針シテ
言ノゴトクニシテ愈ユ
按スルニ傷寒發熱シ膏トトシテ惡寒シテ大イニ渴シ
飲食シ膳ニ蒲チ自汗ニ至リ出ルトキハ表スニ解ス

小便利スルトキハ裏ヲノツカラ和ス。カルガユヘニ仲景カ
イタ。其メ病解ント欲スミサニ其ノヲノツカラ愈ルコ
ヲ俟ツベシ。肝肺ニ乘リ。勝ザルトコロヲ侮ルヲ爲
カ。ガユヘニ横ト云フ。今文義ヲ詳ラカニシテ期門
刺スノ三字。疑フラクハ行ナラシ。故ユヘニ丹溪カ謂ク
羅成之ガイク。仲景カ書全書ニアラス。其ノ間
アルハ文備カナラサルアリ。或ハ未ダ盡クサ
サルヲ有リ。吾レ毎ニコレヲ思フ。以テ疑フヲ無キ
ニアタハズ。此コノ謂ニ依

腹哀 日月ノ下タ一寸五分。腹ノ中行ヲ云ルヲ四寸半足
ノ太陰陰維ノ會。銅人ニ針スルヲ三分
寒中食化セズ。大便膿血ヲツカサドル

章門

一名脇腹

太横ノ外。殖季脇肋ノ端。脇肋ノ上

二寸。兩旁九寸。側肋ノ上ノ足ヲ屈メ。下ノ足ヲ伸

臂ヲ舉ゲテコレヲ取ル。又イムク。肘ノノリガリ盡ル處

ニ穴ナリ。脾ノ募。足ノ少陽厥陰ノ會。難經ニ藏

章門ニ會ス。疏ニイハク。藏病コレヲ治ス。銅人ニ針

スルヲ六分。灸スルヲ百壯。明堂ニ曰ニ七壯。五百壯ニ

止ム。素註ニ針スルヲ八分。留ムルヲ六呼。灸スルヲ三壯

腸鳴リ盈ムトメ食化セズ。脇イタニテ即スヲ得ズ。

煩熱シ。口カハキ。食ヲ嗜マズ。ム子ワキイタニテ又滿喘

息ム子イタニテカラエツキレ。吐逆飲食却テ尚ニ腰

イタニテ轉側スルヲ得ズ。コレ春ヒエイタニ。弱ヲク

白濁。傷飽。身黃。三ヤセ。貴脉積聚。腹腫レテツミ

ゴトク。セナカコリ。相支ク多ビレ。慧ビシ思シ。少氣シ厥逆シ。
肩カヒチ舉キザルヲツカサドル

東垣カ曰ク。氣腸胃ニ在ルモノハコレヲ太陰陽明ニ
聚キ下シラズ。二里ニ章門ニ中脘ニ取ル

魏土圭キ姜徐シ病シテ臍ノ下ヨリ上リツ。ム子背ニ

至リテ。脹滿シ。嘔吐シ。煩悶シ。飲食スニ乏

滑伯仁シガイハクコレ寒シ。下焦ニ在リ。爲スニ章門ニ氣海ニ灸

腹結ニ陽谿ニ十四經ニ發揮ニイハク大橫ノ下ニ二寸。腹ノ中

行ク去リ四寸半。鍼ニ入ニ二銖ス。フ七分ニ灸ス。フ五

壯シ。效逆シ。ホクイタミ。腹ヒエ。瀉利シ。心ニ痛ク。主ストル

鍼灸拔萃中之上終